

CT 検査プロトコールリスト

オーダーからの振り分け

* 各プロトコールをクリックすると、詳細ページに移動します。

【頭部】

(オーダー項目)	(検査プロトコール)	(備考)
頭部 CT 単純	1000 頭部 CT 単純 1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ) 1003 頭部 CT 単純(急性期脳梗塞) 1013 頭部多断面 CT 単純(急性期脳梗塞)	水頭症の脳室サイズ経過観察に使用 頭蓋早期癒合症の経過観察に使用 高線量) 急性期脳梗塞(疑)、40 歳以上 高線量) ポジショニング困難な場合のみ使用 急性期脳梗塞(疑)、40 歳以上
頭部 CT 造影	1001 頭部 CT 造影 1002 頭部 CT 単純+造影 1011 頭部多断面 CT 造影 1012 頭部多断面 CT 単純+造影	高線量) 「単純」追加必要時 高線量) 「単純」追加必要時
下垂体 CT 単純	1030 下垂体 CT 単純	
下垂体 CT 造影	1031 下垂体 CT 造影 1032 下垂体 CT 単純+造影	高線量) 「単純」追加必要時
頭部多断面 CT 単純	1010 頭部多断面 CT 単純 1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ)	水頭症の脳室サイズ経過観察に使用 頭蓋早期癒合症の経過観察に使用
頭部多断面 CT 造影	1011 頭部多断面 CT 造影 1012 頭部多断面 CT 単純+造影	高線量) 「単純」追加必要時
頭部 CT 単純【脳室サイズ】	1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ)	水頭症の脳室サイズ経過観察に使用 頭蓋早期癒合症の経過観察に使用
頭蓋骨 CT 単純	1020 頭蓋骨 CT 単純	
頭部 CTA	1100 頭部 CTA 1101 頭部 CTA+単純 1102 頭部 CTA+CTV 1103 頭部 CTA+CTV+単純 1104 頭部 CTA+CTV+造影 1107 頭部 CTA+CTV+単純+造影	高線量) 「頭部 CT 単純」追加依頼時 高線量) 「頭部 CTV」追加依頼時 高線量) 「頭部 CT 単純」「頭部 CTV」追加依頼時 高線量) 「頭部 CTV」「頭部 CT 造影」追加依頼時 高線量) 「単純」「造影」「CTV」追加依頼時
頭部 CT-Perfusion	1105 頭部 CT-Perfusion	
頭部 CTA+Perfusion	1106 頭部 CTA+Perfusion	
脳槽脳室 CT【初回】	1200 脳槽脳室 CT	
脳槽脳室 CT【2 回目以降】	1200 脳槽脳室 CT	
全身筋 CT 単純	1500 全身筋 CT 単純	

【頭頸部】

(オーダー項目)	(検査プロトコール)	(備考)
顔面骨 CT 単純	2000 顔面骨 CT 単純 2001 顔面骨 CT 単純(低線量)	依頼に「低線量 CT」とある場合
鼻骨 CT 単純	2010 鼻骨 CT 単純	
眼窩 CT 単純	2020 眼窩 CT 単純	
眼窩 CT 造影	2021 眼窩 CT 造影 2022 眼窩 CT 単純+造影	高線量) 単純追加必要時
副鼻腔 CT 単純	2030 副鼻腔 CT 単純	
副鼻腔 CT 造影	2031 副鼻腔 CT 造影	
側頭骨 CT 単純	2040 側頭骨 CT 単純	

側頭骨 CT 造影	2041 側頭骨 CT 造影	
頸部 CT 単純	2100 頸部 CT 単純 2102 頸部 CT 単純(膿瘍) 2104 頸部 CT 単純(唾石) 2110 頸部ターゲット CT 単純	頸部膿瘍(疑) 唾石症(疑) 咽喉頭腫瘍(疑)全般 (喉頭全摘後は 2100)
頸部 CT 造影	2130 甲状腺 CT 単純 2101 頸部 CT 造影 2103 頸部 CT 造影(膿瘍) 2105 頸部 CT 造影(唾石) 2120 頸部ダイナミック CT(血管性) 2121 頸部ダイナミック CT(口腔)	甲状腺・副甲状腺疾患 喉頭全摘後、口腔癌治療後 頸部膿瘍(疑) 唾石症(疑) 高線量) 鼻出血、血管性腫瘍(疑) 高線量) 口腔腫瘍(舌、頬粘膜)(疑) (治療後は 2101)
咽喉頭ターゲット CT 単純	2111 頸部ターゲット CT 造影(上中部) 2112 頸部ターゲット CT 造影(下部) 2131 甲状腺 CT 造影 2132 甲状腺 CT 単純+造影 2110 頸部ターゲット CT 単純	上・中咽頭腫瘍(疑) 下咽頭・喉頭腫瘍(疑) (喉頭全摘後は 2101) 甲状腺全摘術後 高線量) 甲状腺・副甲状腺疾患 咽喉頭腫瘍(疑)全般 (喉頭全摘後は 2100)
咽喉頭ターゲット CT 造影	2100 頸部 CT 単純 2111 頸部ターゲット CT 造影(上中部) 2112 頸部ターゲット CT 造影(下部) 2121 頸部ダイナミック CT(口腔)	上記以外 上・中咽頭腫瘍(疑) 下咽頭・喉頭腫瘍(疑) (喉頭全摘後は 2101) 高線量) 口腔腫瘍(舌、頬粘膜)(疑) (治療後は 2101)
甲状腺 CT 単純	2101 頸部 CT 造影	上記以外
甲状腺 CT 造影	2130 甲状腺 CT 単純 2131 甲状腺 CT 造影 2132 甲状腺 CT 単純+造影	甲状腺・副甲状腺疾患 甲状腺全摘術後 高線量) 甲状腺・副甲状腺疾患
頸部 CTA	2200 頸部 CTA	
【体幹一般(頸-胸部)】		
(オーダ項目)	(検査プロトコール)	(備考)
頸-胸部 CT 単純	3000 頸-胸部 CT 単純 3010 頸-胸部 CT 単純(分割)	頭頸部腫瘍以外 咽喉頭・口腔以外の頭頸部腫瘍(疑) 喉頭全摘後、甲状腺腫瘍(疑)
	3020 頸-胸部ターゲット CT 単純	咽喉頭腫瘍(疑)全般 (喉頭全摘後は 3010)
頸-胸部 CT 造影	3001 頸-胸部 CT 造影 3011 頸-胸部 CT 造影(分割)	頭頸部腫瘍以外 咽喉頭・口腔・甲状腺以外の頭頸部腫瘍 喉頭全摘後、甲状腺全摘後、口腔癌治療後 高線量) 甲状腺・副甲状腺疾患 (甲状腺全摘後は 3011)
	3012 頸-胸部 CT 単純+造影(分割)	上・中咽頭腫瘍(疑)
	3021 頸-胸部ターゲット CT 造影(上中部)	下咽頭・喉頭腫瘍(疑)
	3022 頸-胸部ターゲット CT 造影(下部)	(喉頭全摘後は 3011)
	3031 頸-胸部ダイナミック CT	高線量) 口腔腫瘍(舌、頬粘膜)(疑) (治療後は 3011)

【体幹一般(頸部～、その他)】

* 広範囲撮影オーダーでは、各部位の必要性を検討

* スクリーニング的なオーダーでは、撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

(オーダー項目)	(検査プロトコール)	(備考)
頸-腹部 CT 単純	3040 頸-腹部 CT 単純 3048 頸-腹部 CT 単純(5mm)	スクリーニング
頸-腹部 CT 造影	3041 頸-腹部 CT 造影 3042 頸-腹部 CT 造影(肝臓単純) 3049 頸-腹部 CT 造影(5mm)	高線量) 造影 CT で評価しにくい肝転移 スクリーニング
頸-骨盤部 CT 単純	3050 頸-骨盤部 CT 単純 3058 頸-骨盤部 CT 単純(5mm) 5000 頸-骨盤部 CTA 単純	スクリーニング 大動脈疾患評価目的(術後合併症を含む)
頸-骨盤部 CT 造影	3051 頸-骨盤部 CT 造影 3052 頸-骨盤部 CT 造影(肝臓単純) 3059 頸-骨盤部 CT 造影(5mm)	高線量) 造影 CT で評価しにくい肝転移 スクリーニング

【体幹一般(胸部～)】

* 広範囲撮影オーダーでは、各部位の必要性を検討

* スクリーニング的なオーダーでは、撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

* 腹部を含む造影 CT オーダーでは、上腹部ダイナミック CT への変更も考慮(胸部や骨盤部の削除も併せて検討)

(オーダー項目)	(検査プロトコール)	(備考)
胸部 CT 単純	3100 胸部 CT 単純 5100 胸部 CTA 単純 7000 胸郭 CT 単純	大動脈疾患評価目的(術後合併症を含む) 胸郭の形態評価目的
胸部 CT 造影	3101 胸部 CT 造影	
胸-腹部 CT 単純	3120 胸-腹部 CT 単純(肺精査) 3122 胸-腹部 CT 単純 3128 胸-腹部 CT 単純(5mm)	呼吸器内科、呼吸器外科依頼 スクリーニング
胸-腹部 CT 造影	3121 胸-腹部 CT 造影(肺精査) 3123 胸-腹部 CT 造影 3124 胸-腹部 CT 造影(肝臓単純) 3129 胸-腹部 CT 造影(5mm)	呼吸器内科、呼吸器外科依頼 高線量) 造影 CT で評価しにくい肝転移 スクリーニング
胸-骨盤部 CT 単純	3130 胸-骨盤部 CT 単純 3138 胸-骨盤部 CT 単純(5mm) 5110 胸-骨盤部 CTA 単純	スクリーニング 大動脈疾患評価目的(術後合併症を含む) 血管炎精査目的
胸-骨盤部 CT 造影	3131 胸-骨盤部 CT 造影 3132 胸-骨盤部 CT 造影(肝臓単純) 3139 胸-骨盤部 CT 造影(5mm) 4401 腹-骨盤部ダイナミック CT(胸-骨盤部)	高線量) 造影 CT で評価しにくい肝転移 スクリーニング 高線量) 当日緊急のうち、急性腹症・下血
胸-骨盤部 CT 造影+ CTU	3133 胸-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU 3134 胸-骨盤部 CT 造影+CTU 3053 頸-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU 3054 頸-骨盤部 CT 造影+CTU	婦人科術前、良性尿路疾患 尿路腫瘍(疑) 高線量) 頸部追加必要時 婦人科術前、良性疾患による水腎症 高線量) 頸部追加必要時 尿路腫瘍(疑)

【体幹一般(腹部～、骨盤部)】

* 造影 CT オーダーでは、上腹部ダイナミック CT への変更を考慮

(オーダー項目)	(検査プロトコール)	(備考)
腹部 CT 単純	3200 腹部 CT 単純	
腹部 CT 造影	3202 腹部 CT 造影	

腹部【DIC 後】CT	3203 腹部【DIC 後】CT	
腹-骨盤部 CT 単純	3240 腹-骨盤部 CT 単純	
	3248 腹-骨盤部 CT 単純(5mm)	
	3300 腎-膀胱 CT 単純	
	5200 腹-骨盤部 CTA 単純	スクリーニング 尿路結石(疑)、水腎症 大動脈疾患評価目的 (術後合併症を含む) 血管炎精査目的
腹-骨盤部 CT 造影	3241 腹-骨盤部 CT 造影	
	3242 腹-骨盤部 CT 造影(肝臓単純)	高線量) 造影 CT で評価しにくい肝転移
	3249 腹-骨盤部 CT 造影(5mm)	スクリーニング
	4400 腹-骨盤部ダイナミック CT	高線量) 当日緊急のうち、急性腹症・下血
腹-骨盤部 CT 造影+ CTU	3243 腹-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU	婦人科術前、良性疾病
	3244 腹-骨盤部 CT 造影+CTU	尿路腫瘍(疑)
腎-膀胱 CT 単純	3300 腎-膀胱 CT 単純	尿路結石(疑)、水腎症
腎-膀胱 CT 単純+ CTU	3301 腎-膀胱 CT 単純+低線量 CTU	水腎症
腎-膀胱 CT 単純+造影+ CTU	3302 腎-膀胱 CT 単純+造影+CTU	尿路腫瘍(疑)
骨盤部 CT 単純	3400 骨盤部 CT 単純	
	7100 骨盤骨 CT 単純	骨の精査
骨盤部 CT 造影	3401 骨盤部 CT 造影	
全身筋 CT 単純	1500 全身筋 CT 単純	

【体幹精査】

* 広範囲撮影依頼では、各部位の必要性を検討

* ダイナミック CT が本当に必要か検討(特に短期経過観察時)

(オーダー項目)

(検査プロトコル)

(備考)

肝ダイナミック CT

[4000 肝ダイナミック CT](#)

[4001 肝ダイナミック CT\(腹-骨盤部\)](#)

[4002 肝ダイナミック CT\(胸-腹部\)](#)

[4003 肝ダイナミック CT\(胸-骨盤部\)](#)

[4010 肝ダイナミック CT 静脈瘤精査\(腹部\)](#)

[4011 肝ダイナミック CT 静脈瘤精査\(腹-骨盤部\)](#)

肝ダイナミック CT【術前】

[4020 肝ダイナミック CT【術前】](#)

[4021 肝ダイナミック CT【術前】\(腹-骨盤部\)](#)

[4022 肝ダイナミック CT【術前】\(胸-腹部\)](#)

[4023 肝ダイナミック CT【術前】\(胸-骨盤部\)](#)

肝ダイナミック CT【肝転移術前】

[4030 肝ダイナミック CT【肝転移術前】](#)

[4031 肝ダイナミック CT【肝転移術前】\(腹-骨盤部\)](#)

[4032 肝ダイナミック CT【肝転移術前】\(胸-腹部\)](#)

[4033 肝ダイナミック CT【肝転移術前】\(胸-骨盤部\)](#)

胆・膵ダイナミック CT

[4100 胆・膵ダイナミック CT【炎症】](#)

[4101 胆・膵ダイナミック CT【炎症】\(腹-骨盤部\)](#)

[4102 胆・膵ダイナミック CT【炎症】\(胸-腹部\)](#)

[4103 胆・膵ダイナミック CT【炎症】\(胸-骨盤部\)](#)

[4110 胆・膵ダイナミック CT【腫瘍】](#)

[4111 胆・膵ダイナミック CT【腫瘍】\(腹-骨盤部\)](#)

[4112 胆・膵ダイナミック CT【腫瘍】\(胸-腹部\)](#)

[4113 胆・膵ダイナミック CT【腫瘍】\(胸-骨盤部\)](#)

胆・膵ダイナミック CT【術前】

[4120 胆・膵ダイナミック CT【術前】](#)

[4121 胆・膵ダイナミック CT【術前】\(腹-骨盤部\)](#)

[4122 胆・膵ダイナミック CT【術前】\(胸-腹部\)](#)

[4123 胆・膵ダイナミック CT【術前】\(胸-骨盤部\)](#)

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

静脈瘤精査

直腸を含む静脈瘤精査

肝細胞癌術前の血管構築目的

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

肝転移術前の血管構築目的

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

骨盤部追加必要時

胸部追加必要時

胸部・骨盤部追加必要時

胸-腹部 CT 造影【食道術前】	4200 胸-腹部 CT 造影【食道術前】	
頸-腹部 CT 造影【食道術前】	4201 胸-骨盤部 CT 造影【食道術前】	骨盤部追加必要時
	4202 頸-腹部 CT 造影【食道術前】	
	4203 頸-骨盤部 CT 造影【食道術前】	骨盤部追加必要時
腹-骨盤部 CT 造影【胃術前】	4210 腹-骨盤部 CT 造影【胃術前】	
胸-骨盤部 CT 造影【胃術前】	4211 胸-骨盤部 CT 造影【胃術前】	
腹-骨盤部 CT 造影【大腸術前】	4220 腹-骨盤部 CT 造影【大腸術前】	
胸-骨盤部 CT 造影【大腸術前】	4221 胸-骨盤部 CT 造影【大腸術前】	
腎臓ダイナミック CT(腹部)	4300 腎臓ダイナミック CT(腹部)	腎腫瘍診断
腎臓ダイナミック CT(腹-骨盤部)	4301 腎臓ダイナミック CT(腹-骨盤部)	腎腫瘍診断
腎臓ダイナミック CT(胸-骨盤部)	4302 腎臓ダイナミック CT(胸-骨盤部)	腎腫瘍診断
副腎静脈サンプリング前 CT	4500 副腎静脈サンプリング前 CT	
肺塞栓 CT	4600 肺塞栓 CT【early BH】	
肺塞栓+深部静脈 CT	4610 肺塞栓+深部静脈 CT【early BH】	

【CTA】

* 頭部 CTA は【頭部】、頸部 CTA は【頭頸部】		
(オーダ項目)	(検査プロトコル)	(備考)
頸-骨盤部 CTA 単純	5000 頸-骨盤部 CTA 単純	
頸-骨盤部 CTA	5001 頸-骨盤部 CTA	
	5003 頸-骨盤部 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
頸-骨盤部 CTA【TAVI 術前】	5010 頸-骨盤部 CTA(TAVI 術前)	
	5011 頸-骨盤部 CTA(TAVI 術前 CABG 後)	
胸部 CTA 単純	5100 胸部 CTA 単純	
胸部 CTA	5101 胸部 CTA	
	5103 胸部 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
	5106 胸部 CTA(喀血 IVR 前)	高線量) 依頼内容に「喀血」や「血痰」とある場合
	5108 胸部 CTA(心電図同期)	心電図同期撮影依頼時
	5109 胸部 CTA(動脈管評価)	「動脈管開存症の治療前 CTA」とある場合
胸部 CTA【肺術前】	5105 胸部 CTA(肺術前)	
	5106 胸部 CTA(喀血 IVR 前)	高線量) 依頼内容に「喀血」や「血痰」とある場合
胸-骨盤部 CTA 単純	5110 胸-骨盤部 CTA 単純	
胸-骨盤部 CTA	5111 胸-骨盤部 CTA	
	5113 胸-骨盤部 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
	5116 胸-骨盤部 CTA(心電図同期)	心電図同期撮影依頼時
	5400 Adamkiewicz	Adamkiewicz 動脈検索目的の場合
	4240 胸-骨盤部 CT 造影【腎移植術前】	腎移植術前の血管確認目的
胸-下肢 CTA 単純	5120 胸-下肢 CTA 単純	
胸-下肢 CTA	5121 胸-下肢 CTA	
	5123 胸-下肢 CTA(ASO)	下肢血管疾患
	5125 胸-下肢 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
	5127 胸-下肢 CTA(ASO 単純追加)	高線量) 下肢血管疾患で単純追加基準に該当する場合
胸-腹部 CTA 単純	5150 胸-腹部 CTA 単純	胸腹部血管疾患の経過観察に使用
胸-腹部 CTA	5151 胸-腹部 CTA	胸腹部血管疾患の経過観察に使用
	5153 胸-腹部 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
腹-骨盤部 CTA 単純	5200 腹-骨盤部 CTA 単純	
腹-骨盤部 CTA	5201 腹-骨盤部 CTA	

腹-下肢 CTA 単純	5203 腹-骨盤部 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
腹-下肢 CTA	5210 腹-下肢 CTA 単純	
	5211 腹-下肢 CTA	
	5213 腹-下肢 CTA(ASO)	下肢血管疾患
	5215 腹-下肢 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
	5217 腹-下肢 CTA(ASO 単純追加)	高線量) 下肢血管疾患で単純追加基準に該当する場合
腹部 CTA	5251 腹部 CTA	
骨盤-下肢 CTA 単純	5300 骨盤-下肢 CTA 単純	
骨盤-下肢 CTA	5301 骨盤-下肢 CTA	
	5303 骨盤-下肢 CTA(単純追加)	高線量) 単純追加基準に該当する場合
骨盤部 CTA	5351 骨盤部 CTA	
右上肢 CTA	5501 右上肢 CTA	
	5502 右上肢 CTA(シャント)	シャントの形状確認目的の場合
左上肢 CTA	5511 左上肢 CTA	
	5512 左上肢 CTA(シャント)	シャントの形状確認目的の場合
下肢 CTA	5601 下肢 CTA	
冠動脈 CTA	5700 冠動脈 CTA	
	5710 冠動脈 CTA(CABG 後)	高線量)
胸部 CTA【アブレーション術前】	5800 胸部 CTA(アブレーション術前)	
	5810 胸部 CTA(アブレーション術前)+遅延相	高線量)「持続性心房細動で左心耳精査のため遅延相追加」と記載がある場合
	5820 胸部 CTA(左心耳カテーテル術前)	高線量)「左心耳閉鎖術用 CTA」と記載がある場合
胸部 CTA【TPVI 術前】	5830 胸部 CTA(TPVI 術前)	

CTA 単純追加基準

* 以下の場合に単純を追加する。

(適応)	(撮影範囲)
ステントグラフト術後	上縁はグラフト上縁から 3cm 上、下縁はグラフト下縁から 3cm 下 骨盤部動脈瘤が知られている場合は坐骨下縁まで
AAA 破裂(疑)	肝上縁～坐骨下縁
血栓閉塞型大動脈解離	肺尖部～坐骨下縁まで
急性大動脈解離(疑)の初回 CTA	肺尖部～坐骨下縁まで

【脊椎】

(オーダ項目)	(検査プロトコール)
頸椎 CT 単純	6000 頸椎 CT 単純
頸椎 CT 造影	6001 頸椎 CT 造影
胸椎 CT 単純	6010 胸椎 CT 単純
胸椎 CT 造影	6011 胸椎 CT 造影
腰椎 CT 単純	6020 腰椎 CT 単純
腰椎 CT 造影	6021 腰椎 CT 造影
頸胸椎 CT 単純	6030 頸胸椎 CT 単純
頸胸椎 CT 造影	6031 頸胸椎 CT 造影
胸腰椎 CT 単純	6040 胸腰椎 CT 単純
胸腰椎 CT 造影	6041 胸腰椎 CT 造影
腰仙椎 CT 単純	6050 腰仙椎 CT 単純
腰仙椎 CT 造影	6051 腰仙椎 CT 造影
胸腰仙椎 CT 単純	6060 胸腰仙椎 CT 単純
胸腰仙椎 CT 造影	6061 胸腰仙椎 CT 造影
全脊椎 CT 単純	6070 全脊椎 CT 単純
全脊椎 CT 造影	6071 全脊椎 CT 造影

【骨軟部】

(オーダー項目)

(検査プロトコール)

胸郭 CT 単純 [7000 胸郭 CTCT 単純](#)

右(左)肩関節 CT 単純 [7010 肩関節 CT](#)

[7020 肩甲骨 CT](#)

右(左)肩関節 CT 造影 [7010 肩関節 CT](#)

[7020 肩甲骨 CT](#)

右(左)上腕 CT 単純 [7030 上腕 CT](#)

右(左)上腕 CT 造影 [7030 上腕 CT](#)

右(左)肘関節 CT 単純 [7040 肘関節 CT](#)

右(左)肘関節 CT 造影 [7040 肘関節 CT](#)

右(左)前腕 CT 単純 [7050 前腕 CT](#)

右(左)前腕 CT 造影 [7050 前腕 CT](#)

右(左)手関節 CT 単純 [7060 手関節 CT](#)

右(左)手関節 CT 造影 [7060 手関節 CT](#)

右(左)手 CT 単純 [7070 手 CT](#)

右(左)手 CT 造影 [7070 手 CT](#)

骨盤骨 CT 単純 [7100 骨盤骨 CT 単純](#)

右(左・両側)股関節 CT 単純 [7110 股関節 CT](#)

右(左・両側)股関節 CT 造影 [7110 股関節 CT](#)

右(左・両側)大腿 CT 単純 [7130 大腿 CT](#)

右(左・両側)大腿 CT 造影 [7130 大腿 CT](#)

右(左・両側)膝関節 CT 単純 [7140 膝関節 CT](#)

右(左・両側)膝関節 CT 造影 [7140 膝関節 CT](#)

右(左・両側)下腿 CT 単純 [7160 下腿 CT](#)

右(左・両側)下腿 CT 造影 [7160 下腿 CT](#)

右(左・両側)足関節 CT 単純 [7170 足関節 CT](#)

右(左・両側)足関節 CT 造影 [7170 足関節 CT](#)

右(左・両側)足 CT 単純 [7180 足 CT](#)

右(左・両側)足 CT 造影 [7180 足 CT](#)

(上肢および下肢の造影 CT について)

造影の必要性、CTA への振り替えを検討

上肢および下肢の単純 CT と造影 CT はプロトコールを共有。プロトコール名の変更は不要

Precheck で「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

【小児】

* 14 歳以下では小児プロトコールを使用

【小児 頭部】

(オーダー項目)

頭部 CT 単純

(検査プロトコール)

[8000～8004 小児頭部 CT 単純](#)

[8010～8014 小児頭部多断面 CT 単純](#)

(備考)

MPR や VR の作成依頼がある場合
小児急性期脳梗塞用は未設定

頭部 CT 単純【急性期脳梗塞】

[8000～8004 小児頭部 CT 単純](#)

頭部 CT 造影

[8005～8009 小児頭部 CT 造影](#)

MPR や VR の作成依頼がある場合

頭部多断面 CT 単純

[8015～8019 小児頭部多断面 CT 造影](#)

頭部多断面 CT 造影

[8010～8014 小児頭部多断面 CT 単純](#)

頭部 CT 単純【脳室サイズ】

[8015～8019 小児頭部多断面 CT 造影](#)

[8020～8024 小児頭部 CT 単純\(脳室サイズ\)](#)

頭部 CTA

[8700～8704 小児頭部 CTA](#)

【小児 頭頸部】

(オーダー項目)

顔面骨 CT 単純

(検査プロトコール)

[8100～8104 小児顔面骨 CT 単純](#)

[8106～8109 小児顔面骨 CT 単純\(低線量\)](#)

依頼内容に「低線量」とある場合

眼窩 CT 単純

[8120～8124 小児眼窩 CT 単純](#)

眼窩 CT 造影

[8125～8129 小児眼窩 CT 造影](#)

副鼻腔 CT 単純

[8140～8144 小児副鼻腔 CT 単純](#)

副鼻腔 CT 造影

[8145～8149 小児副鼻腔 CT 造影](#)

側頭骨 CT 単純

[8150～8154 小児側頭骨 CT 単純](#)

側頭骨 CT 造影

[8155～8159 小児側頭骨 CT 造影](#)

(オーダー)

(検査プロトコール)

頸部 CT 単純

[8160～8164 小児頸部 CT 単純](#)

頸部 CT 造影

[8165～8169 小児頸部 CT 造影](#)

咽喉頭ターゲット CT 単純

[8160～8164 小児頸部 CT 単純](#)

咽喉頭ターゲット CT 造影

[8165～8169 小児頸部 CT 造影](#)

甲状腺 CT 単純

[8160～8164 小児頸部 CT 単純](#)

甲状腺 CT 造影

[8165～8169 小児頸部 CT 造影](#)

頸部 CTA

[8710～8714 小児頸部 CTA](#)

【小児 体幹部】

(オーダー項目)

頸-胸部 CT 単純

(検査プロトコール)

[8200～8204 小児頸-胸部 CT 単純](#)

頸-胸部 CT 造影

[8205～8209 小児頸-胸部 CT 造影](#)

(備考)

頸-腹部 CT 単純

[8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純](#)

頸-腹部 CT 造影

[8365～8369 小児胸-骨盤部 CT 造影](#)

頸-骨盤部 CT 単純

[8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純](#)

頸-骨盤部 CT 造影

[8365～8369 小児胸-骨盤部 CT 造影](#)

胸部 CT 単純

[8300～8304 小児胸部 CT 単純](#)

胸部 CT 造影

[8305～8309 小児胸部 CT 造影](#)

胸-腹部 CT 単純

[8320～8324 小児胸-腹部 CT 単純](#)

胸-腹部 CT 造影

[8325～8329 小児胸-腹部 CT 造影](#)

胸-骨盤部 CT 単純

[8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純](#)

胸-骨盤部 CT 造影

[8365～8369 小児胸-骨盤部 CT 造影](#)

腹部 CT 単純	8400～8404 小児腹部 CT 単純	
腹部 CT 造影	8405～8409 小児腹部 CT 造影	
腹部ダイナミック CT 単純+造影 2 相	8410～8414 小児腹部ダイナミック CT 単純+造影 2 相 8430～8434 小児腹部ダイナミック CT 造影 2 相【術前】	
腹-骨盤部 CT 単純	8500～8504 小児腹-骨盤部 CT 単純	
腹-骨盤部 CT 造影	8505～8509 小児腹-骨盤部 CT 造影	
腎-膀胱 CT 単純	8500～8504 小児腹-骨盤部 CT 単純	範囲は No3300 を参照
腹-骨盤部ダイナミック CT 単純+造影 2 相	8530～8534 小児腹-骨盤部ダイナミック CT 単純+造影 2 相	

【小児 CTA】

(オーダ項目)	(検査プロトコール)	
頸-骨盤部 CTA 単純	8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純	
頸-骨盤部 CTA	8740～8744 小児胸-骨盤部 CTA	
胸部 CTA 単純	8300～8304 小児胸部 CT 単純	
胸部 CTA	8720～8724 小児胸部 CTA	
胸-骨盤部 CTA 単純	8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純	
胸-骨盤部 CTA	8740～8744 小児胸-骨盤部 CTA	
胸-下肢 CTA 単純	8360～8364 小児胸-骨盤部 CT 単純	
胸-下肢 CTA	8740～8744 小児胸-骨盤部 CTA	
腹-骨盤部 CTA 単純	8500～8504 小児腹-骨盤部 CT 単純	
腹-骨盤部 CTA	8730～8734 小児腹-骨盤部 CTA	
腹-下肢 CTA 単純	8500～8504 小児腹-骨盤部 CT 単純	
腹-下肢 CTA	8730～8734 小児腹-骨盤部 CTA	
骨盤-下肢 CTA	8730～8734 小児腹-骨盤部 CTA	
右上肢 CTA	8750～8754 小児上肢 CTA	
左上肢 CTA	8750～8754 小児上肢 CTA	
下肢 CTA	8760～8765 小児下肢 CTA	

【小児 脊椎】

(オーダ項目)	(検査プロトコール)	
頸椎 CT 単純	8800～8804 小児頸椎 CT 単純	
頸椎 CT 造影	8805～8809 小児頸椎 CT 造影	
胸椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純	
胸椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影	
腰椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純	
腰椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影	
頸胸椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純	
頸胸椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影	

胸腰椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純
胸腰椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影
腰仙椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純
腰仙椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影
胸腰仙椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純
胸腰仙椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影
全脊椎 CT 単純	8810～8814 小児脊椎 CT 単純
全脊椎 CT 造影	8815～8819 小児脊椎 CT 造影
【小児 四肢】	
(オーダ項目)	(検査プロトコール)
胸郭 CT 単純	8300～8304 小児胸部 CT 単純
右(左)肩関節 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)肩関節 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)上腕 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)上腕 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)肘関節 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)肘関節 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)前腕 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)前腕 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)手関節 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)手関節 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)手 CT 単純	8840～8844 小児上肢 CT
右(左)手 CT 造影	8840～8844 小児上肢 CT
右(左・両)股関節 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)股関節 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)大腿 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)大腿 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)膝関節 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)膝関節 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)下腿 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)下腿 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)足関節 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)足関節 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)足 CT 単純	8870～8874 小児下肢 CT
右(左・両)足 CT 造影	8870～8874 小児下肢 CT

使用装置

GE 装置を優先する領域: 頭部、頸部以外の頭頸部(顔面骨から側頭骨まで)

その他はなるべく Siemens 装置を使用

Siemens では CARE kV を用い、年齢階層に関わらず同じ装置プロトコルを使用する

ただし、頭部は固定電圧(120 kV)

頭部

1000 頭部 CT 単純

オーダー項目)	頭部 CT 単純
装置 protocol)	Head_P
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
撮影モード)	non-helical
基準面)	OM line
再構成)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
適応)	以下の場合は積極的に「1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ)」を使用 1 年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合 頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合
Precheck)	脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

1001 頭部 CT 造影

オーダー項目)	頭部 CT 造影
装置 protocol)	Head_C
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
撮影モード)	non-helical
基準面)	OM line
造影剤)	500 mgI/kg、90 sec 注入
時相)	4 分 後撮影
再構成)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
Precheck)	脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

1002 頭部 CT 単純+造影

オーダー項目)	頭部 CT 造影
装置 protocol)	Head_P_C
範囲)	全相: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
撮影モード)	non-helical
基準面)	OM line
造影剤)	500 mgI/kg、90 sec 注入
時相)	① 単純 ② 造影: 4 分 後撮影
再構成)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
適応)	依頼医から「単純追加」依頼があり、妥当と判断した場合
Precheck)	脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

1003 頭部 CT 単純(急性期脳梗塞)

* Early CT sign 評価目的の高線量プロトコール	
オーダー項目)	頭部 CT 単純
装置 protocol)	Head_P_Stroke
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
撮影モード)	non-helical
基準面)	OM line

再構成) 脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
Main サーバ) 脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像
適応) 急性期脳梗塞(疑)
・一連の診療では初回のみ
・40 歳以上対象

1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ)

* 水頭症の脳室サイズ経過観察目的の低線量プロトコル(1000 頭部 CT 単純の約半分の線量)
* 基準面は眼窩への照射を避けることが目的である
オーダー項目) 頭部 CT 単純【脳室サイズ】、頭部 CT 単純
装置 protocol) Head_P_Ventricle_Size
範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
* 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
基準面) 前頭蓋窩下縁と後頭蓋窩下縁を結んだ線(眼窩を避けるため)
撮影モード) non-helical
再構成) 脳画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ) 脳画像、脳横断 MPR 像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像
適応) 頭部 CT 単純【脳室サイズ】オーダー以外で、以下の場合に使用
1 年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合
頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合(初回 CT は通常線量プロトコルを使用)

1010 頭部多断面 CT 単純

オーダー項目) 頭部多断面 CT 単純、頭部 CT 単純
装置 protocol) Head_MPR_P
範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
* 頭蓋骨の検査(3D 作成など)も兼ねている場合は、頭蓋骨外板まで
基準面) OM line
撮影モード) helical
再構成) 脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ) 脳画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像、
脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)
適応) 以下の場合は積極的に「1004 頭部 CT 単純(脳室サイズ)」を使用
1 年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合
頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合(初回 CT は通常線量プロトコルを使用)
Precheck) 脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載
Precheck) 頭蓋骨 3D 作成依頼などで必要な場合、「頭蓋骨外板まで」と記載

1011 頭部多断面 CT 造影

オーダー項目) 頭部多断面 CT 造影、頭部 CT 造影
装置 protocol) Head_MPR_C
範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
* 頭蓋骨の検査(3D 作成など)も兼ねている場合は、頭蓋骨外板まで
基準面) OM line
撮影モード) helical
造影剤) 500 mgI/kg、90 sec 注入
時相) 4 分 後撮影
再構成) 脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ) 脳画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像、
脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)
Precheck) 脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載
Precheck) 頭蓋骨 3D 作成依頼などで必要な場合、「頭蓋骨外板まで」と記載

1012 頭部多断面 CT 単純+造影

オーダー項目)	頭部多断面 CT 造影、頭部 CT 造影
装置 protocol)	Head_MPR_P_C
範囲)	全相: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 頭蓋骨の検査(3D 作成など)も兼ねている場合は、頭蓋骨外板まで
基準面)	OM line
撮影モード)	helical
造影剤)	500 mgI/kg、90 sec 注入
時相)	① 単純 ② 造影: 4 分 後撮影
再構成)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ)	脳画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像 脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)
適応)	依頼医から単純追加依頼があり、必要と判断された場合
Precheck)	脳転移検索、頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載
Precheck)	頭蓋骨 3D 作成などで必要な場合、「頭蓋骨外板まで」と記載

1013 頭部多断面 CT 単純(急性期脳梗塞)

* Early CT sign 評価目的の高線量プロトコール

* ポジショニング困難な場合のみ使用

オーダー項目)	頭部 CT 単純
装置 protocol)	Head_MPR_P_Stroke
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
撮影モード)	helical
基準面)	OM line
再構成)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像 脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)
適応)	急性期脳梗塞(疑) ・一連の診療では初回のみ ・40 歳以上対象 ・ポジショニング困難な場合のみ使用

1020 頭蓋骨 CT 単純

オーダー項目)	頭蓋骨 CT 単純
装置 protocol)	Skull_P
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨外板まで
基準面)	OM line
撮影モード)	helical
再構成)	骨画像(GE)、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

1030 下垂体 CT 単純

オーダー項目)	下垂体 CT 単純
装置 protocol)	Pituitary_P
範囲)	後床突起 4cm 頭側から歯列下縁まで * 歯が無い場合は、硬口蓋下縁 1cm 尾側から後床突起 4cm 頭側まで(* 位置決め資料参照)
撮影モード)	helical
基準面)	後床突起-眼窩中央 line
再構成)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像

1031 下垂体 CT 造影

オーダー項目)	下垂体 CT 造影
装置 protocol)	Pituitary_C
範囲)	後床突起 4cm 頭側から歯列下縁まで * 歯が無い場合は、硬口蓋下縁 1cm 尾側から後床突起 4cm 頭側まで(* 位置決め資料参照)
撮影モード)	helical
基準面)	後床突起-眼窩中央 line
造影剤)	500 mgI/kg、90 sec 注入
時相)	2 分 30 秒 後撮影
再構成)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ)	脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像

1032 下垂体 CT 単純+造影

オーダー項目)	下垂体 CT 造影
装置 protocol)	Pituitary_P_C
範囲)	全相: 後床突起 4cm 頭側から歯列下縁まで * 歯が無い場合は、硬口蓋下縁 1cm 尾側から後床突起 4cm 頭側まで(* 位置決め資料参照)
撮影モード)	helical
基準面)	後床突起-眼窩中央 line
造影剤)	500 mgI/kg、90 sec 注入
時相)	① 単純 ② 造影: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	脳画像、頭部骨画像、脳 thin slice 画像
Main サーバ)	脳画像、頭部骨画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像
適応)	依頼医から「単純追加」依頼があり、妥当と判断した場合

1100 頭部 CTA

オーダー項目)	頭部 CTA
装置 protocol)	CTA_Head
範囲)	後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談
基準面)	OM line
造影剤)	体表面積法 10458 mgI/m ² 、12 sec 注入
時相)	動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後
再構成)	Reference 画像、CTA 原画像
Main サーバ)	CTA 原画像、CTA 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、 瘤径計測画像(動脈瘤がある場合に作成)

1101 頭部 CTA+単純

オーダー項目)	頭部 CTA
装置 protocol)	CTA_Head_P
範囲)	① 単純: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可 ② 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談
基準面)	OM line
造影剤)	体表面積法 10458 mgI/m ² 、12 sec 注入

時相)	① 単純
	② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後
再構成)	脳画像、脳 2.5mm 画像、Reference 画像、CTA 原画像
Main サーバ)	脳画像、脳 2.5mm 画像、CTA 原画像、CTA 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、瘤径計測画像 (動脈瘤がある場合に作成)
適応)	依頼医から「頭部 CT 単純」の追加依頼がある場合

1102 頭部 CTA+CTV

オーダー項目)	頭部 CTA
装置 protocol)	CTA__Head__CTV
範囲)	① 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談 ② 静脈相: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
基準面)	OM line
造影剤)	体表面積法 10458 mgI/m ² 、12 sec 注入
時相)	① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後 ② 静脈相: 動脈相に連続して最短で撮影
再構成)	Reference 画像、CTA 原画像、CTV 原画像
Main サーバ)	CTA 原画像、CTV 原画像、CTA 減算画像、CTV 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTV 冠状断 MPR 像、CTV 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、CTV VR 像、瘤径計測画像 (動脈瘤がある場合に作成)
適応)	依頼医から「頭部 CTV」の追加依頼がある場合

1103 頭部 CTA+CTV+単純

* Navigation 手術用に CTV と頭部多断面 CT 単純を追加したプロトコール	
オーダー項目)	頭部 CTA
装置 protocol)	CTA__Head__CTV_P
範囲)	① 単純: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング * 「鼻下縁から」や、「顔を水平」のポジショニングは位置決め資料を参照 ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談 ② 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで ③ 静脈相: 単純と同一範囲
基準面)	OM line
造影剤)	体表面積法 10458 mgI/m ² 、12 sec 注入
時相)	① 単純 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後 ③ 静脈相: 動脈相に連続して最短で撮影
再構成)	脳画像、Reference 画像、CTA 原画像、CTV 原画像
Main サーバ)	脳画像、CTA 原画像、CTV 原画像、CTA 減算画像、CTV 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTV 冠状断 MPR 像、CTV 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、CTV VR 像、瘤径計測画像 (動脈瘤がある場合に作成)

適応) 依頼医から「頭部 CT 単純」および「頭部 CTV」の追加依頼がある場合
 Precheck) 鼻下縁からの撮影依頼がある場合は、以下を記載する
 「顔を水平にポジショニング」、「撮影範囲の下縁は鼻下縁からに変更」

1104 頭部 CTA+CTV+造影

* Navigation 手術用に CTV と頭部多断面 CT 造影を追加したプロトコール

オーダー項目) 頭部 CTA
 装置 protocol) CTA__Head__CTV_C
 範囲) ① 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで
 * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング
 * 「鼻下縁から」や、「顔を水平」のポジショニングは位置決め資料を参照
 ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談
 ② 静脈相: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
 ③ 遅延相: 静脈相と同一範囲

基準面) OM line
 造影剤) 体表面積法 10458 mgI/m²、12 sec 注入
 時相) ① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理
 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間
 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 6 sec 後
 ② 静脈相: 動脈相に連続して最短で撮影
 ③ 遅延相: 4 分 後撮影

再構成) 脳画像、Reference 画像、CTA 原画像、CTV 原画像
 Main サーバ) 脳画像、CTA 原画像、CTV 原画像、CTA 減算画像、CTV 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、
 CTA 矢状断 MPR 像、CTV 冠状断 MPR 像、CTV 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、
 CTV VR 像、瘤径計測画像 (動脈瘤がある場合に作成)

適応) 依頼医から「頭部 CTV」および「頭部 CT 造影」の追加依頼がある場合
 Precheck) 鼻下縁からの撮影依頼がある場合は、以下を記載する
 「顔を水平にポジショニング」、「撮影範囲の下縁は鼻下縁からに変更」

1105 頭部 CT-Perfusion

オーダー項目) 頭部 CT-Perfusion
 装置 protocol) Head__CTP
 範囲) ① 単純: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
 * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
 ② CTP: 単純画像から放射線診断科医と決定

基準面) OM line
 造影剤) 体表面積法 10458 mgI/m²、10 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② CTP: 5 sec 後から 60 sec 間の連続撮影

再構成) 脳画像、脳 2.5mm 画像、CTP 原画像
 Main サーバ) 脳画像、脳 2.5mm 画像、CTP 原画像、CTP 解析画像

1106 頭部 CTA+Perfusion

オーダー項目) 頭部 CTA+Perfusion
 装置 protocol) CTA__Head__CTP
 範囲) ① 単純: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで
 * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
 ② CTP: 単純画像から放射線診断科医と決定
 ③ 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで
 * 原則 OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング
 * ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談

基準面)	OM line
造影剤)	370 mg/ml の造影剤を使用
	CTP: 体表面積法 10458 mg/ml/m ² 、10 sec 注入
	動脈相: 体表面積法 10458 mg/ml/m ² 、12 sec 注入
時相)	① 単純
	② CTP: 投与開始 5 sec 後から 60 秒間の連続撮影
	③ 動脈相: CTP より撮影開始時間を算出、サブトラクション処理
再構成)	脳画像、脳 2.5mm 画像、CTP 原画像、Reference 画像、CTA 画像
Main サーバ)	脳画像、脳 2.5mm 画像、CTP 原画像、CTA 原画像、CTA 減算画像、CTP 解析画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、瘤径計測画像(動脈瘤がある場合に作成)

1107 頭部 CTA+CTV+単純+造影

* Navi 用に頭部多断面 CT 単純、CTA、CTV、頭部多断面 CT 造影を撮影するプロトコール

オーダー項目)	頭部 CTA
装置 protocol)	CTA_Head_CTV_P_C
範囲)	① 単純: 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * OM line と撮影スライス面を水平にポジショニング * 「鼻下縁から」や、「顔を水平」のポジショニングは位置決め資料を参照 ポジショニングが困難な場合は、リーダー技師等に相談
	② 動脈相: 後頭蓋窩下縁から 10 cm 頭側まで
	③ 静脈相: 単純と同一範囲
	④ 遅延相: 単純と同一範囲

基準面)	OM line
造影剤)	体表面積法 10458 mg/ml/m ² 、12 sec 注入
時相)	① 単純
	② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後
	③ 静脈相: 動脈相に連続して最短で撮影
	④ 遅延相: 4 分 後撮影
再構成)	脳画像、Reference 画像、CTA 原画像、CTV 原画像
Main サーバ)	脳画像、CTA 原画像、CTV 原画像、CTA 減算画像、CTV 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA 矢状断 MPR 像、CTV 冠状断 MPR 像、CTV 矢状断 MPR 像、CTA VR 像、CTV VR 像
適応)	依頼医から「単純、CTV、遅延相」の追加依頼がある場合
Precheck)	鼻下縁からの撮影依頼がある場合は、以下を記載する 「顔を水平にポジショニング」、「撮影範囲の下縁は鼻下縁からに変更」

1200 脳槽脳室 CT

オーダー項目)	脳槽脳室 CT【初回】、脳槽脳室 CT【2 回目以降】
装置 protocol)	Head_Cistern
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで * 内板上縁に正確に合わせられない場合は、頭側に数スライスの余剰は可
撮影モード)	non-helical
基準面)	OM line
再構成)	脳画像、脳 2.5mm 画像
Main サーバ)	脳画像、脳 2.5mm 画像

1500 全身筋 CT 単純

オーダー項目)	全身筋 CT 単純
装置 protocol)	Muscle_P

範囲) 上腕、前腕、臀部、大腿、下腿を各部位 2 カ所撮影
再構成) 軟部画像
Main サーバ) 軟部画像

頭頸部

2000 顔面骨 CT 単純

オーダー項目) 顔面骨 CT 単純
装置 protocol) Face_P
範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から下顎骨下縁 1 cm 尾側まで
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
再構成) 骨画像(GE)、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

2001 顔面骨 CT 単純(低線量)

* 形成外科依頼の下顎骨術後経過観察用低線量プロトコール

オーダー項目) 顔面骨 CT 単純
装置 protocol) Face_P_LD
範囲) 顔面骨: 眼窩上縁 1 cm 頭側から下顎骨下縁 1 cm 尾側まで
下顎骨: 錐体上縁から下顎骨下縁 1 cm 尾側下まで
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
再構成) 骨画像(GE)、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 上記のどちらかの撮影範囲を記載

2010 鼻骨 CT 単純

オーダー項目) 鼻骨 CT 単純
装置 protocol) Nose_P
範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで(* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
再構成) 骨画像(GE)、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

2020 眼窩 CT 単純

オーダー項目) 眼窩 CT 単純
装置 protocol) Orbit_P
範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで(* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像、VR 像

2021 眼窩 CT 造影

オーダー項目) 眼窩 CT 造影
装置 protocol) Orbit_C
範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで(* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像

2022 眼窩 CT 単純+造影

オーダー項目) 眼窩 CT 造影
装置 protocol) Orbit_P_C
範囲) 全相 : 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで (* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) ① 単純
② 造影: 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 依頼医から「単純追加」依頼があり、必要と判断された場合(異物による炎症など)

2030 副鼻腔 CT 単純

オーダー項目) 副鼻腔 CT 単純
装置 protocol) Sinus_P
範囲) 前頭洞上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで (* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像
Precheck) 腫瘍の場合、「軟部条件 thin slice 画像を追加」と記載

2031 副鼻腔 CT 造影

オーダー項目) 副鼻腔 CT 造影
装置 protocol) Sinus_C
範囲) 前頭洞上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
* 歯が無い場合の撮影範囲下縁は、硬口蓋下縁 1cm 尾側まで (* 位置決め資料参照)
基準面) 後床突起-眼窩中央 line
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像、軟部矢状断 MPR 像

2040 側頭骨 CT 単純

オーダー項目) 側頭骨 CT 単純
装置 protocol) Ear_P
範囲) 錐体上縁 1cm 頭側から乳突蜂巣下縁まで
* 左右別の側頭骨画像(DFOV 100 mm)を第 2、第 3 画像再構成で作成
基準面) 錐体上縁-眼窩下縁 line
再構成) 軟部画像(GE)、軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、側頭骨冠状断 MPR 像

2041 側頭骨 CT 造影

オーダー項目) 側頭骨 CT 造影
装置 protocol) Ear_C
範囲) 錐体上縁 1cm 頭側から乳突蜂巣下縁まで
* 左右別の側頭骨画像(DFOV 100 mm)を第 2、第 3 画像再構成で作成
基準面) 錐体上縁-眼窩下縁 line

造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
 時相) 1 分 10 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像 (GE)、軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、側頭骨軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、側頭骨軟部 thin slice 画像、側頭骨冠状断 MPR 像、軟部側頭骨冠状断 MPR 像

2100 頸部 CT 単純

オーダー項目) 頸部 CT 単純
 装置 protocol) Neck_P
 範囲) 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 * 嚥声精査の場合、気管分岐部 2cm 尾側まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 Precheck) 嚥声精査の場合、「気管分岐部 2cm 尾側まで」と記載
 嗅神経芽細胞腫の場合、「前頭蓋底上縁 1cm 頭側から」と記載
 鼻・副鼻腔腫瘍の場合、「副鼻腔用 骨と軟部の thin slice 画像を追加」と記載 (FOV 160 mm で再構成)

2101 頸部 CT 造影

オーダー項目) 頸部 CT 造影
 装置 protocol) Neck_C
 範囲) 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 * 嚥声精査の場合、気管分岐部 2cm 尾側まで
 造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
 時相) 1 分 10 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 適応) 喉頭全摘後、口腔癌治療後
 Precheck) 嚥声精査の場合、「気管分岐部 2cm 尾側まで」と記載
 嗅神経芽細胞腫の場合、「前頭蓋底上縁 1cm 頭側から」と記載
 鼻・副鼻腔腫瘍の場合、「副鼻腔用 骨と軟部の thin slice 画像を追加」と記載 (FOV 160 mm で再構成)

2102 頸部 CT 単純(膿瘍)

オーダー項目) 頸部 CT 単純
 装置 protocol) Neck_P_Abscess
 範囲) 眼窩上縁 5cm 上方から胸鎖関節下端まで
 * 下縁スライスに膿瘍があれば、以下の撮影を追加
 上肢挙上で、肺尖から心臓下縁まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 適応) 頸部膿瘍(疑)
 Precheck) 「撮影終了時に膿瘍の範囲確認」と記載

2103 頸部 CT 造影(膿瘍)

オーダー項目) 頸部 CT 造影
 装置 protocol) Neck_C_Abscess
 範囲) 眼窩上縁 5cm 上方から胸鎖関節下端まで
 * 下縁スライスに膿瘍があれば、以下の撮影を追加
 上肢挙上で、肺尖から心臓下縁まで
 造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
 時相) 1 分 10 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

適応) 頸部膿瘍(疑)
Precheck) 「撮影終了時に膿瘍の範囲確認」と記載

2104 頸部 CT 単純(唾石)

オーダー項目) 頸部 CT 単純
装置 protocol) Neck_P_Stone
範囲) 顎下腺唾石症: 硬口蓋上縁から下顎骨下縁 2cm 尾側まで
耳下腺唾石症: 上咽頭上縁から下顎骨下縁まで
* 原則、両唾液腺共に前額面を撮影スライス面と垂直にポジショニングする。
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 唾石症(疑)
Precheck) 撮影範囲を記載 (顎下腺唾石症の範囲か耳下腺唾石症の範囲か)

2105 頸部 CT 造影(唾石)

オーダー項目) 頸部 CT 造影
装置 protocol) Neck_C_Stone
範囲) 顎下腺唾石症: 硬口蓋上縁から下顎骨下縁 2cm 尾側まで
耳下腺唾石症: 上咽頭上縁から下顎骨下縁まで
* 原則、両唾液腺共に前額面を撮影スライス面と垂直にポジショニングする。
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 唾石症(疑)
Precheck) 撮影範囲を記載 (顎下腺唾石症の範囲か耳下腺唾石症の範囲か)

2110 頸部ターゲット CT 単純

オーダー項目) 咽喉頭ターゲット CT 単純
装置 protocol) Neck_P_Target
範囲) 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
* 上咽頭腫瘍(疑)の場合は、後床突起から胸鎖関節下端まで
拡大再構成) 病変の部位に応じた範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成 (* 位置決め資料参照)
上咽頭: 後床突起から第 2 頸椎椎体下縁まで
中咽頭: 硬口蓋上縁から舌骨下縁まで
下咽頭・喉頭: 喉頭蓋上縁 1 cm 頭側から第 1 胸椎肋骨基部まで
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、拡大再構成画像
Main サーバ) 軟部画像、拡大再構成画像、軟部冠状断 MPR 像、拡大再構成冠状断 MPR 像
適応) 咽喉頭腫瘍(疑)全般
ただし、喉頭全摘後はプロトコル「頸部 CT 単純」を使用
Precheck) 上咽頭腫瘍(疑)の場合、「後床突起から」「骨画像、骨 thin slice 画像追加」と記載

2111 頸部ターゲット CT 造影(上中部)

オーダー項目) 咽喉頭ターゲット CT 造影
装置 protocol) Neck_C_Target_UM
範囲) 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
* 上咽頭腫瘍(疑)の場合は、後床突起から胸鎖関節下端まで
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) 1 分 10 秒 後撮影
拡大再構成) 病変の部位に応じた範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成 (* 位置決め資料参照)
上咽頭: 後床突起から第 2 頸椎椎体下縁まで
中咽頭: 硬口蓋上縁から舌骨下縁まで

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、拡大再構成画像
 Main サーバ) 軟部画像、拡大再構成画像、軟部冠状断 MPR 像、拡大再構成冠状断 MPR 像
 適応) 上・中咽頭腫瘍(疑)
 Precheck) 上咽頭腫瘍(疑)の場合、「後床突起から」「骨画像、骨 thin slice 画像追加」と記載

2112 頸部ターゲット CT 造影(下部)

* Dual energy 使用

オーダー項目) 咽喉頭ターゲット CT 造影
 装置 protocol) Neck_C_Target_L
 範囲) 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
 時相) 1 分 10 秒 後撮影
 拡大再構成) 以下の範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成(* 位置決め資料参照)
 喉頭蓋上縁 1 cm 頭側から第 1 胸椎肋骨基部まで
 再構成) 120 kVp 相当画像、120 kVp 相当 thin slice 画像、拡大再構成 120 kVp 相当画像、
 拡大再構成 DE 解析用画像
 Main サーバ) 120 kVp 相当画像、拡大再構成 120 kVp 相当画像、軟部冠状断 MPR 像、
 拡大再構成冠状断 MPR 像
 適応) 下咽頭腫瘍(疑)、喉頭腫瘍(疑)、
 ただし、喉頭全摘後はプロトコル「頸部 CT 造影」を使用

2120 頸部ダイナミック CT(血管性)

オーダー項目) 頸部 CT 造影
 装置 protocol) Neck_Dynamic_Vascular
 範囲) 全相: 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 造影剤) 500 mgI/kg、25 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Bolus tracking 法 (基準時間: 第 3 頸椎レベル CT 値 > 100)
 基準 5 sec 後(25 sec 後標準)
 ③ 静脈相: 前相終了 40 sec 後に自動開始 (1 分 10 秒 後標準)
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 適応) 鼻出血の原因精査
 血管性腫瘍(疑) (拍動性が明記されている場合など)
 Precheck) 上咽頭病変(疑)の場合、「後床突起から」と記載

2121 頸部ダイナミック CT(口腔)

オーダー項目) 頸部 CT 造影
 装置 protocol) Neck_Dynamic_Mouth
 範囲) ①・② 単純・動脈相: 硬口蓋上縁から下顎骨下端 1cm 尾側まで
 ③ 静脈相: 上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 造影剤) 500 mgI/kg、25 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Bolus tracking 法 (基準時間: 第 3 頸椎レベル CT 値 > 100)
 基準 5 sec 後(25 sec 後標準)
 ③ 静脈相: 前相終了 40 sec 後に自動開始 (1 分 10 秒 後標準)
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 適応) 口腔腫瘍(舌、頬粘膜)(疑)
 ただし、治療後はプロトコル「頸部 CT 造影」を使用

2130 甲状腺 CT 単純

オーダー項目) 甲状腺 CT 単純、頸部 CT 単純
装置 protocol) Thyroid_P
範囲) 上咽頭上縁から気管分岐部 2cm 尾側まで
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 甲状腺・副甲状腺疾患

2131 甲状腺 CT 造影

オーダー項目) 甲状腺 CT 造影、頸部 CT 造影
装置 protocol) Thyroid_C
範囲) 上咽頭上縁から気管分岐部 2cm 尾側まで
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 甲状腺全摘術後

2132 甲状腺 CT 単純+造影

オーダー項目) 甲状腺 CT 造影、頸部 CT 造影
装置 protocol) Thyroid_P_C
範囲) ① 単純: 舌骨下縁から胸鎖関節下縁まで
* 甲状腺全体が撮影されていることを確認
② 造影: 上咽頭上縁から気管分岐部 2cm 尾側まで
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) ① 単純
② 造影: 1 分 10 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 甲状腺・副甲状腺疾患

2200 頸部 CTA

オーダー項目) 頸部 CTA
装置 Protocol) CTA__Neck
範囲) 気管分岐部 2 cm 尾側から眼窩上縁 2 cm 頭側まで
* 原則、前額面を撮影スライス面と垂直にポジショニングする。
* 過去画像等がある場合は、その画像を参照し大動脈弓部 3 分岐の 2 cm 尾側までとする。
造影剤) 24 mgI/kg/sec、12 sec 注入
時相) 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理
第 3 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間
Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 3 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100)
動脈相: 基準 6 sec 後
再構成) Reference 画像、Reference thin slice 画像、CTA 原画像、CTA thin slice 原画像
Main サーバ) CTA 原画像、CTA 減算画像、CTA 冠状断 MPR 像、CTA VR 像

体幹一般(頸-胸部)

3000 頸-胸部 CT 単純

オーダー項目) 頸-胸部 CT 単純
装置 protocol) Neck__Chest_P
範囲) 上咽頭上縁から肺底部まで
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸胸部冠状断 MPR 像
Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3001 頸-胸部 CT 造影

オーダー項目) 頸-胸部 CT 造影
装置 protocol) Neck__Chest_C
範囲) 上咽頭上縁から肺底部まで
造影剤) 500 mgI/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸胸部冠状断 MPR 像
Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3010 頸-胸部 CT 単純(分割)

* 頸部と胸部を分割撮影
オーダー項目) 頸-胸部 CT 単純
装置 protocol) Neck__Chest_P_Separate
範囲) ① 頸部: 上肢挙上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
* Precheck の記載があれば、上咽頭上縁から気管分岐部まで
② 胸部: 上肢挙上あり、肺尖から肺底部まで
再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、胸部軟部画像、肺野画像、胸部軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 頸部軟部画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像
適応) 咽喉頭・口腔以外の頭頸部腫瘍(甲状腺腫瘍を含む)(疑)、喉頭全摘後
Precheck) 依頼情報に「頸部は気管分岐部まで」と入力がある場合は、これを記載
嗅神経芽細胞腫の場合、「前頭蓋底上縁 1cm 頭側から」と記載
鼻・副鼻腔腫瘍の場合、「副鼻腔用 骨と軟部の thin slice 画像を追加」と記載 (FOV 160 mm で再構成)

3011 頸-胸部 CT 造影(分割)

* 頸部と胸部を分割撮影
オーダー項目) 頸-胸部 CT 造影
装置 protocol) Neck__Chest_C_Separate
範囲) ① 頸部: 上肢挙上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
② 胸部: 上肢挙上あり、肺尖から肺底部まで
造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入
時相) ① 頸部: 1 分 10 秒 後撮影
② 胸部: 3 分 以内に撮影
再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、胸部軟部画像、肺野画像、胸部軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 頸部軟部画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像
適応) 咽喉頭・口腔・甲状腺以外の頭頸部腫瘍(疑)、喉頭全摘後、甲状腺全摘後
Precheck) 依頼情報に「頸部は気管分岐部まで」と入力がある場合は、これを記載
嗅神経芽細胞腫の場合、「前頭蓋底上縁 1cm 頭側から」と記載
鼻・副鼻腔腫瘍の場合、「副鼻腔用 骨と軟部の thin slice 画像を追加」と記載 (FOV 160 mm で再構成)

3012 頸-胸部 CT 単純+造影(分割)

* 頸部と胸部を分割撮影
オーダー項目) 頸-胸部 CT 造影
装置 protocol) Neck__Chest_P_C_Separate
範囲) ① 頸部単純: 上肢挙上なし、舌骨下縁から胸鎖関節下端まで
* 甲状腺全体が撮影されていることを確認
② 頸部造影: 上肢挙上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
* Precheck の記載があれば、上咽頭上縁から気管分岐部まで
③ 胸部造影: 上肢挙上あり、肺尖から肺底部まで

造影剤) 500 mg/kg、40 sec 注入
 時相) ① 頸部単純
 ② 頸部造影: 1 分 10 秒 後撮影
 ③ 胸部造影: 3 分 以内に撮影
 再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、胸部軟部画像、肺野画像、胸部軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 頸部軟部画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像
 適応) 甲状腺・副甲状腺疾患
 ただし、甲状腺全摘後はプロトコル「頸-胸部 CT 造影(分割)」を使用
 Precheck) 依頼情報に「頸部は気管分岐部まで」と入力がある場合は、これを記載

3020 頸-胸部ターゲット CT 単純

* 頸部と胸部を分割撮影
 * 主病変領域を拡大再構成
 オーダ項目) 頸-胸部 CT 単純
 装置 protocol) Neck__Chest_P_Target
 範囲) ① 頸部: 上肢挙上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 * 上咽頭腫瘍(疑)の場合は、後床突起から胸鎖関節下端まで
 ② 胸部: 上肢挙上あり、肺尖から肺底部まで
 拡大再構成) 主病変の部位に応じた範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成(* 位置決め資料参照)
 上咽頭: 後床突起から第 2 頸椎椎体下縁まで
 中咽頭: 硬口蓋上縁から舌骨下縁まで
 下咽頭・喉頭: 喉頭蓋上縁 1 cm 頭側から第 1 胸椎肋骨基部まで
 再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、拡大再構成画像、胸部軟部画像、肺野画像、
 胸部軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 頸部軟部画像、拡大再構成画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、
 拡大再構成冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像
 適応) 咽喉頭腫瘍(疑)全般
 ただし、喉頭全摘後はプロトコル「頸-胸部 CT 単純(分割)」を使用
 Precheck) 上咽頭腫瘍(疑)の場合、「後床突起から」「骨画像、骨 thin slice 画像追加」と記載

3021 頸-胸部ターゲット CT 造影(上中部)

* 頸部と胸部を分割撮影
 * 主病変領域を拡大再構成
 オーダ項目) 頸-胸部 CT 造影
 装置 protocol) Neck__Chest_C_Target_UM
 範囲) ① 頸部: 上肢挙上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで
 * 上咽頭腫瘍(疑)の場合は、後床突起から胸鎖関節下端まで
 ② 胸部: 上肢挙上あり、肺尖から肺底部まで
 造影剤) 500 mg/kg、40 sec 注入
 時相) ① 頸部造影: 1 分 10 秒 後撮影
 ② 胸部造影: 3 分 以内に撮影
 拡大再構成) 主病変の部位に応じた範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成(* 位置決め資料参照)
 上咽頭: 後床突起から第 2 頸椎椎体下縁まで
 中咽頭: 硬口蓋上縁から舌骨下縁まで
 再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、拡大再構成画像、胸部軟部画像、肺野画像、
 胸部軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 頸部軟部画像、拡大再構成画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、
 拡大再構成冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像
 適応) 上・中咽頭腫瘍(疑)
 Precheck) 上咽頭腫瘍(疑)の場合、「後床突起から」「骨画像、骨 thin slice 画像追加」と記載

3022 頸-胸部ターゲット CT 造影(下部)

* Dual-energy を使用

* 頸部と胸部を分割撮影

* 主病変領域を拡大再構成

オーダー項目) 頸-胸部 CT 造影

装置 protocol) Neck__Chest_C_Target_L

範囲) ① 頸部: 上肢拳上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで

② 胸部: 上肢拳上あり、肺尖から肺底部まで

造影剤) 500 mgI/kg、40 sec 注入

時相) ① 頸部造影: 1 分 10 秒 後撮影、Dual-energy を使用

② 胸部造影: 3 分 以内に撮影

拡大再構成) 以下の範囲を DFOV 150 mm で拡大再構成 (* 位置決め資料参照)

喉頭蓋上縁 1 cm 頭側から第 1 胸椎肋骨基部まで

再構成) 120 kVp 相当画像、120 kVp 相当 thin slice 画像、拡大再構成 120 kVp 相当画像、
拡大再構成 DE 解析用画像、胸部軟部画像、肺野画像、胸部軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 120 kVp 相当画像、拡大再構成 120 kVp 相当画像、胸部軟部画像、肺野画像、
頸部冠状断 MPR 像、拡大再構成冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像

適応) 下咽頭腫瘍(疑)、喉頭腫瘍(疑)

ただし、喉頭全摘後はプロトコル「頸-胸部 CT 造影(分割)」を使用

3031 頸-胸部ダイナミック CT

* 頸部と胸部を分割撮影

オーダー項目) 頸-胸部 CT 造影

装置 protocol) Neck__Chest_Dynamic

範囲) ① 頸部単純: 上肢拳上なし、硬口蓋上縁から下顎骨正中下端 1cm 尾側まで

② 頸部動脈相: 頸部単純と同じ

③ 頸部静脈相: 上肢拳上なし、上咽頭上縁から胸鎖関節下端まで

④ 胸部遅延相: 上肢拳上あり、肺尖から肺底部まで

造影剤) 500 mgI/kg、25 sec 注入

時相) ① 頸部単純

② 頸部動脈相: Bolus tracking 法 (基準時間: 第 3 頸椎レベル CT 値 > 100)
基準 5 sec 後(25 sec 後標準)

③ 頸部静脈相: 前相終了 40 sec 後に自動開始 (1 分 10 秒 後標準)

④ 胸部遅延相: 3 分 以内に撮影

再構成) 頸部軟部画像、頸部軟部 thin slice 画像、胸部軟部画像、肺野画像、胸部軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 頸部軟部画像、胸部軟部画像、肺野画像、頸部冠状断 MPR 像、胸部冠状断 MPR 像

適応) 口腔腫瘍(舌、頬粘膜)(疑)

ただし、治療後はプロトコル「頸-胸部 CT 造影(分割)」を使用

体幹一般(頸部～、その他)

3040 頸-腹部 CT 単純

オーダー項目) 頸-腹部 CT 単純

装置 protocol) Neck__Abd_P

範囲) 上咽頭上縁から腸骨上縁まで

* 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から

再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸腹部冠状断 MPR 像

Precheck) 腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断

適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコルを選択 (院内検査マニュアルに記載)

Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3041 頸-腹部 CT 造影

オーダー項目) 頸-腹部 CT 造影
装置 protocol) Neck__Abd_C
範囲) 上咽頭上縁から腸骨上縁まで
* 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸腹部冠状断 MPR 像
Precheck) 腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断
適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3042 頸-腹部 CT 造影(肝臓単純)

* 肝転移評価用に肝臓単純 CT を追加したプロトコール
オーダー項目) 頸-腹部 CT 造影
装置 protocol) Neck__Abd_C_Liver_P
範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで
② 造影: 上咽頭上縁から腸骨上縁まで
* 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) ① 単純
② 造影: 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸腹部冠状断 MPR 像
適応) 造影 CT で評価しにくい肝転移の場合
乳癌で以下のいずれかを満たす場合
原発巣径 > 5 cm、リンパ節転移あり、胸壁固定あり、皮膚障害あり
腎細胞癌、甲状腺癌、悪性黒色腫、神経内分泌腫瘍
肝転移病巣が依頼情報に記載されている患者の初回 CT
肝転移経過観察で、過去 CT から単純 CT が必要と判断される場合
脂肪肝(過去検査等で知られている場合)
Precheck) 腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断
適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3048 頸-腹部 CT 単純(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目) 頸-腹部 CT 単純
装置 protocol) Neck__Abd_P_5mm
範囲) 上咽頭上縁から腸骨上縁まで
再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、頸腹部冠状断 MPR 像
適応) スクリーニング
以下の場合に使用
目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3049 頸-腹部 CT 造影(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目) 頸-腹部 CT 造影

装置 protocol) Neck__Abd_C_5mm
 範囲) 上咽頭上縁から腸骨上縁まで
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、頸腹部冠状断 MPR 像
 適応) スクリーニング
 以下の場合に使用
 目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
 病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
 Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3050 頸-骨盤部 CT 単純

オーダー項目) 頸-骨盤部 CT 単純
 装置 protocol) Neck__Pelvis_P
 範囲) 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 * 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸骨盤部冠状断 MPR 像
 Precheck) 腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断
 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
 頸部・胸部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から骨盤部の必要性を判断
 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
 Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3051 頸-骨盤部 CT 造影

オーダー項目) 頸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Neck__Pelvis_C
 範囲) 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 * 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸骨盤部冠状断 MPR 像
 Precheck) 腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断
 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
 頸部・胸部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から骨盤部の必要性を判断
 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
 Precheck) 体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3052 頸-骨盤部 CT 造影(肝臓単純)

* 肝転移評価用に肝臓単純 CT を追加したプロトコール
 オーダー項目) 頸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Neck__Pelvis_C_Liver_P
 範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで
 ② 造影: 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 * 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 造影: 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、頸骨盤部冠状断 MPR 像

適応)	造影 CT で評価しにくい肝転移の場合 乳癌で以下のいずれかを満たす場合 原発巣径 > 5 cm、リンパ節転移あり、胸壁固定あり、皮膚障害あり 腎細胞癌、甲状腺癌、悪性黒色腫、神経内分泌腫瘍 肝転移病巣が依頼情報に記載されている患者の初回 CT 肝転移経過観察で、過去 CT から単純 CT が必要と判断される場合 脂肪肝(過去検査等で知られている場合)
Precheck)	腹部・骨盤部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から頸部の必要性を判断 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載) 頸部・胸部腫瘍では、「特別指示」覧の記載等から骨盤部の必要性を判断 適応なしなら撮影せず、適切な範囲のプロトコールを選択 (院内検査マニュアルに記載)
Precheck)	体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3053 頸-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU

オーダー項目)	胸-骨盤部 CT 造影+CTU
装置 protocol)	Neck__Pelvis_C_LDCTU
範囲)	① 造影: 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から ② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで * 直前の造影画像から範囲を設定する
造影剤)	550 mgI/kg、60 sec 注入
時相)	① 造影: 1 分 30 秒 後撮影 ② CTU: 8 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、CTU 画像、頸骨盤部軟冠状断 MPR 像、CTU 冠状断 MPR 像、CTU MIP 像、CTU VR 像
適応)	頸部追加撮影依頼があり、妥当と判断した場合
Precheck)	以下の場合に低線量 CTU を選択する 水腎症の評価(婦人科術前、尿路結石、腎盂尿管移行部狭窄など。尿路腫瘍は通常線量)
Precheck)	体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3054 頸-骨盤部 CT 造影+CTU

オーダー項目)	胸-骨盤部 CT 造影+CTU
装置 protocol)	Neck__Pelvis_C_CTU
範囲)	① 造影: 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 体幹部腫瘍の頸部リンパ節評価では、C1 棘突起下縁から ② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで * 直前の造影画像から範囲を設定する
造影剤)	550 mgI/kg、60 sec 注入
時相)	① 造影: 1 分 30 秒 後撮影 ② CTU: 8 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、CTU 画像、頸骨盤部冠状断 MPR 像CTU 冠状断 MPR 像、CTU MIP 像、CTU VR 像
適応)	頸部追加撮影依頼があり、妥当と判断した場合
Precheck)	以下の場合に低線量 CTU を選択する 尿路腫瘍(疑)
Precheck)	体幹部固形癌(食道癌を除く)の頸部リンパ節評価では、「頸部は C1 棘突起下縁から」と記載

3058 頸-骨盤部 CT 単純(5mm)

	* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目)	頸-骨盤部 CT 単純

装置 protocol) Neck__Pelvis_P_5mm
 範囲) 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、頸骨盤部冠状断 MPR 像
 適応) スクリーニング
 以下の場合に使用
 目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
 病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
 Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3059 頸-骨盤部 CT 造影(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
 オーダ項目) 頸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Neck__Pelvis_C_5mm
 範囲) 上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、頸胸腹骨盤部冠状断 MPR 像
 適応) スクリーニング
 以下の場合に使用
 目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
 病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
 Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

体幹一般(胸部～)

3100 胸部 CT 単純

オーダ項目) 胸部 CT 単純
 装置 protocol) Chest_P
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで
 再構成) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、胸部冠状断 MPR 像

3101 胸部 CT 造影

オーダ項目) 胸部 CT 造影
 装置 protocol) Chest_C
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで
 造影剤) 500 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、胸部冠状断 MPR 像

3120 胸-腹部 CT 単純(肺精査)

* 肺野 thin slice 画像を main サーバに送信
 オーダ項目) 胸-腹部 CT 単純
 装置 protocol) Chest__Abd_P_Lung_Thin
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
 再構成) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、胸部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像
 適応) 呼吸器内科、呼吸器外科依頼の場合

3121 胸-腹部 CT 造影(肺精査)

* 肺野 thin slice 画像を main サーバに送信
オーダー項目) 胸-腹部 CT 造影
装置 protocol) Chest__Abd_C_Lung_Thin
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
造影剤) 550 mg/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、胸部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像
適応) 呼吸器内科、呼吸器外科依頼の場合

3122 胸-腹部 CT 単純

オーダー項目) 胸-腹部 CT 単純
装置 protocol) Chest__Abd_P
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
再構成) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野 thin slice 画像、胸腹部冠状断 MPR 像

3123 胸-腹部 CT 造影

オーダー項目) 胸-腹部 CT 造影
装置 protocol) Chest__Abd_C
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
造影剤) 550 mg/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸腹部冠状断 MPR 像

3124 胸-腹部 CT 造影(肝臓単純)

* 肝転移評価用に肝臓単純 CT を追加したプロトコール
オーダー項目) 胸-腹部 CT 造影
装置 protocol) Chest__Abd_C_Liver_P
範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで
② 造影: 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
造影剤) 550 mg/kg、60 sec 注入
時相) ① 単純
② 造影: 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸腹部冠状断 MPR 像
適応) 造影 CT で評価しにくい肝転移の場合
乳癌で以下のいずれかを満たす場合
原発巣径 > 5 cm、リンパ節転移あり、胸壁固定あり、皮膚障害あり
腎細胞癌、甲状腺癌、悪性黒色腫、神経内分泌腫瘍
肝転移病巣が依頼情報に記載されている患者の初回 CT
肝転移経過観察で、過去 CT から単純 CT が必要と判断される場合
脂肪肝(過去検査等で知られている場合)

3128 胸-腹部 CT 単純(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目) 胸-腹部 CT 単純
装置 protocol) Chest__Abd_P_5mm
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、胸腹部冠状断 MPR 像
 適応) スクリーニング
 以下の場合に使用
 目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
 病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
 Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3129 胸-腹部 CT 造影(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
 オーダ項目) 胸-腹部 CT 造影
 装置 protocol) Chest__Abd_C_5mm
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、胸腹部冠状断 MPR 像
 適応) スクリーニング
 以下の場合に使用
 目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
 病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
 Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3130 胸-骨盤部 CT 単純

オーダ項目) 胸-骨盤部 CT 単純
 装置 protocol) Chest__Pelvis_P
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像

3131 胸-骨盤部 CT 造影

オーダ項目) 胸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Chest__Pelvis_C
 範囲) 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像

3132 胸-骨盤部 CT 造影(肝臓単純)

* 肝転移評価用に肝臓単純 CT を追加したプロトコール
 オーダ項目) 胸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Chest__Pelvis_C_Liver_P
 範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで
 ② 造影: 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 造影: 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
 適応) 造影 CT で評価しにくい肝転移の場合
 乳癌で以下のいずれかを満たす場合
 原発巣径 > 5 cm、リンパ節転移あり、胸壁固定あり、皮膚障害あり

腎細胞癌、甲状腺癌、悪性黒色腫、神経内分泌腫瘍
肝転移病巣が依頼情報に記載されている患者の初回 CT
肝転移経過観察で、過去 CT から単純 CT が必要と判断される場合
脂肪肝(過去検査等で知られている場合)

3133 胸-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU

オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影+ CTU
装置 protocol) Chest__Pelvis_C_LDCTU
範囲) ① 造影: 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで
* 直前の造影画像から範囲を設定
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) ① 造影: 1 分 30 秒 後撮影
② CTU: 8 分 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、CTU 画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、
CTU 冠状断 MPR 像、CTU MIP 像、CTU VR 像
適応) 水腎症の評価(婦人科術前、結石、腎盂尿管移行部狭窄など)。尿路腫瘍では通常の CTU

3134 胸-骨盤部 CT 造影+CTU

オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影+CTU
装置 protocol) Chest__Pelvis_C_CTU
範囲) ① 造影: 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで
* 直前の造影画像から範囲を設定
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) ① 造影: 1 分 30 秒 後撮影
② CTU: 8 分 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、CTU 画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、
CTU 冠状断 MPR 像、CTU MIP 像、CTU VR 像
適応) 尿路腫瘍(疑)

3138 胸-骨盤部 CT 単純(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 単純
装置 protocol) Chest__Pelvis_P_5mm
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
適応) スクリーニング
以下の場合に使用
目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3139 胸-骨盤部 CT 造影(5mm)

* 5 mm 厚で軽度低線量にしたスクリーニング用プロトコール
オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) Chest__Pelvis_C_5mm
範囲) 肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入

時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 低線量軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 低線量軟部画像、肺野画像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
適応) スクリーニング
以下の場合に使用
目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

体幹一般(腹部～、骨盤部)

3200 腹部 CT 単純

オーダー項目) 腹部 CT 単純
装置 protocol) Abd_P
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、腹部冠状断 MPR 像

3202 腹部 CT 造影

オーダー項目) 腹部 CT 造影
装置 protocol) Abd_C
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、腹部冠状断 MPR 像

3203 腹部【DIC 後】CT

オーダー項目) 腹部【DIC 後】CT
装置 protocol) DIC__CT
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
* 過去画像や他院画像などの参照可能な画像がなければ、腸骨上縁 2 cm 尾側までとする
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

3240 腹-骨盤部 CT 単純

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 単純
装置 protocol) Abd__Pelvis_P
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

3241 腹-骨盤部 CT 造影

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) Abd__Pelvis_C
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

3242 腹-骨盤部 CT 造影(肝臓単純)

* 肝転移評価用に肝臓単純 CT を追加したプロトコール

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影

装置 protocol) Abd__Pelvis_C_Liver_P

範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで
② 造影: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入

時相) ① 単純

② 造影: 1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

適応) 造影 CT で評価しにくい肝転移の場合

乳癌で以下のいずれかを満たす場合

原発巣径 > 5 cm、リンパ節転移あり、胸壁固定あり、皮膚障害あり

腎細胞癌、甲状腺癌、悪性黒色腫、神経内分泌腫瘍

肝転移病巣が依頼情報に記載されている患者の初回 CT

肝転移経過観察で、過去 CT から単純 CT が必要と判断される場合

脂肪肝(過去検査等で知られている場合)

3243 腹-骨盤部 CT 造影+低線量 CTU

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影+ CTU

装置 protocol) Abd__Pelvis_C_LDCTU

範囲) ① 造影: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで

* 直前の造影画像から範囲を設定

造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入

時相) ① 造影: 1 分 30 秒 後撮影

② CTU: 8 分 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、CTU 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像、CTU 冠状断 MPR 像、

CTU MIP 像、CTU VR 像

適応) 水腎症の評価(婦人科術前、結石、腎盂尿管移行部狭窄など)。尿路腫瘍では通常の CTU

3244 腹-骨盤部 CT 造影+CTU

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影+CTU

装置 protocol) Abd__Pelvis_C_CTU

範囲) ① 造影: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで

* 直前の造影画像から範囲を設定

造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入

時相) ① 造影: 1 分 30 秒 後撮影

② CTU: 8 分 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、CTU 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像、CTU 冠状断 MPR 像、

CTU MIP 像、CTU VR 像

適応) 尿路腫瘍(疑)

3248 腹-骨盤部 CT 単純(5mm)

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 単純

装置 protocol) Abd__Pelvis_P_5mm

範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

再構成) 低線量軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 低線量軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像
適応) スクリーニング
以下の場合に使用
目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3249 腹-骨盤部 CT 造影(5mm)

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) Abd__Pelvis_C_5mm
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 低線量軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 低線量軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像
適応) スクリーニング
以下の場合に使用
目的が生物学的製剤導入前の悪性腫瘍検索の場合
病名が関節リウマチで、目的が悪性腫瘍検索の場合
Precheck) 撮影範囲の縮小、検査の中止(特に若年者)を検討

3300 腎-膀胱 CT 単純

オーダー項目) 腎-膀胱 CT 単純
装置 protocol) Kidney__Bladder_P
範囲) 左右横隔膜の高位側の~~上縁 3 cm 尾側~~から~~坐骨下縁 1 cm 頭側~~まで
* 位置決め画像・過去画像で腎の位置がわかれば、腎上縁 2 cm 頭側から
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像
適応) 水腎症の評価(結石、腎盂尿管移行部狭窄など)

3301 腎-膀胱 CT 単純+低線量 CTU

オーダー項目) 腎-膀胱 CT 単純+ CTU
装置 protocol) Kidney__Bladder_P_LDCTU
範囲) ① 単純: 左右横隔膜の高位側の~~上縁 3 cm 尾側~~から~~坐骨下縁 1 cm 頭側~~まで
* 位置決め画像・過去画像で腎の位置がわかれば、腎上縁 2 cm 頭側から
② CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで
造影剤) 550 mgI/kg、60 sec 注入
時相) ① 単純
② CTU: 8 分 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、CTU 画像、CTU thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、CTU 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像、CTU 冠状断 MPR 像、
CTU MIP 像、CTU VR 像
適応) 水腎症の評価(結石、腎盂尿管移行部狭窄など)

3302 腎-膀胱 CT 単純+造影+CTU

オーダー項目) 腎-膀胱 CT 単純+造影+CTU
装置 protocol) Kidney__Bladder_P_C_CTU
範囲) ① 単純: 左右横隔膜の高位側の~~上縁 3 cm 尾側~~から~~坐骨下縁 1 cm 頭側~~まで
* 位置決め画像・過去画像で腎の位置がわかれば、腎上縁 2 cm 頭側から
② 実質相: 腎上縁 2 cm 頭側から~~坐骨下縁 1 cm 頭側~~まで
* 直前の単純画像を参照して範囲を設定
③ CTU: 腎上縁 2 cm 頭側から膀胱下縁まで

	① 単純
	② 後期動脈相: 基準 20 sec 後(40 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 18 sec 後(GE) (Siemens 19 sec) (63 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
適応)	骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討

4002 肝ダイナミック CT(胸-腹部)

オーダー項目)	肝ダイナミック CT
装置 protocol)	Liver_Dynamic_Chest_Abd
範囲)	①②④門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
	③ 門脈相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側 (下縁) 腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 後期動脈相: 基準 20 sec 後(40 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 15 sec 後(GE) (Siemens 16 sec) (60 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像
適応)	胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討 胸部の異常があっても、胸部についての前回検査との間隔の妥当性も検討

4003 肝ダイナミック CT(胸-骨盤部)

オーダー項目)	肝ダイナミック CT
装置 protocol)	Liver_Dynamic_Chest_Pelvis
範囲)	①②④門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
	③ 門脈相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 後期動脈相: 基準 20 sec 後(40 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 15 sec 後(GE) (Siemens 16 sec) (60 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
適応)	胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討 各部位の前回検査との間隔も考慮する

4010 肝ダイナミック CT 静脈瘤精査(腹部)

オーダー項目)	肝ダイナミック CT
装置 protocol)	Liver_Dynamic_Varix_Abd
範囲)	①②④門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
	③ 門脈相: 腹部 (上縁) 肝上縁 5 cm 頭側

(下縁)腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 後期動脈相: 基準 20 sec 後(40 sec 後標準)
③ 門脈相: 前相終了 18 sec 後(GE) (Siemens 19 sec) (63 sec 後標準)
④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、静脈瘤 VR 像、静脈瘤 MIP 像
適応) 静脈瘤があるか疑われ、精査する場合
Precheck) 3D 作成の依頼がある場合、「静脈瘤 VR、MIP 作成」と記載

4011 肝ダイナミック CT 静脈瘤精査(腹-骨盤部)

オーダー項目) 肝ダイナミック CT
装置 protocol) Liver_Dynamic_Varix_Abd_Pelvis
範囲) ①②④門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)
* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
③ 門脈相: 肝上縁 5 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 後期動脈相: 基準 20 sec 後(40 sec 後標準)
③ 門脈相: 前相終了 18 sec 後(GE) (Siemens 19 sec) (63 sec 後標準)
④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、静脈瘤 VR 像、静脈瘤 MIP 像
適応) 静脈瘤があるか疑われ、直腸静脈瘤を含めて精査する場合
Precheck) 3D 作成の依頼がある場合、「静脈瘤 VR、MIP 作成」と記載

4020 肝ダイナミック CT【術前】

オーダー項目) 肝ダイナミック CT【術前】
装置 protocol) Liver_Dynamic_PreOpe
範囲) ①②③⑤門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)
* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
④ 門脈相: 腹部 (上縁)肝上縁 2 cm 頭側
(下縁)腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
③ 後期動脈相: 前相終了 10 sec 後(GE) (Siemens 10 sec) (40 sec 後標準)
④ 門脈相: 前相終了 20 sec 後(GE) (Siemens 19 sec) (63 sec 後標準)
⑤ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像、残肝 volume
Precheck) 依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載
Precheck) 肝転移術前の血管構築目的の場合は「4030 肝ダイナミック CT【肝転移術前】」を使用

4021 肝ダイナミック CT【術前】(腹-骨盤部)

オーダー項目) 肝ダイナミック CT【術前】
装置 protocol) Liver_Dynamic_PreOpe_Abd_Pelvis
範囲) ①②③⑤門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)

* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認

造影剤)	④ 門脈相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
時相)	600 mgI/kg、30 sec 注入 Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
	③ 後期動脈相: 前相終了 10 sec 後 (GE) (Siemens 10 sec) (40 sec 後標準)
	④ 門脈相: 前相終了 20 sec 後 (GE) (Siemens 19 sec) (63 sec 後標準)
	⑤ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像、残肝 volume
適応)	骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載
Precheck)	肝転移術前の血管構築目的の場合は「4031 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(腹-骨盤部)」を使用

4022 肝ダイナミック CT【術前】(胸-腹部)

オーダー項目)	肝ダイナミック CT【術前】
装置 protocol)	Liver_Dynamic_PreOpe_Chest_Abd
範囲)	①②③⑤門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
	④ 門脈相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側 (下縁) 腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
	③ 後期動脈相: 前相終了 10 sec 後 (GE) (Siemens 10 sec) (40 sec 後標準)
	④ 門脈相: 前相終了 17 sec 後 (GE) (Siemens 16 sec) (60 sec 後標準)
	⑤ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、 血管 VR 像、残肝 volume
適応)	胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載
Precheck)	肝転移術前の血管構築目的の場合は「4032 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(胸-腹部)」を使用

4023 肝ダイナミック CT【術前】(胸-骨盤部)

オーダー項目)	肝ダイナミック CT【術前】
装置 protocol)	Liver_Dynamic_PreOpe_Chest_Pelvis
範囲)	①②③⑤門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
	④ 門脈相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
	③ 後期動脈相: 前相終了 10 sec 後 (GE) (Siemens 10 sec) (40 sec 後標準)
	④ 門脈相: 前相終了 17 sec 後 (GE) (Siemens 16 sec) (60 sec 後標準)
	⑤ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、 血管 VR 像、残肝 volume

適応) 胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から双方を妥当と判断した場合
Precheck) 依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載
Precheck) 肝転移術前の血管構築目的の場合は「4033 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(胸-骨盤部)」を使用

4030 肝ダイナミック CT【肝転移術前】

* 肝転移術前の血管構築を目的としたプロトコール
オーダー項目) 肝ダイナミック CT【肝転移術前】
装置 protocol) Liver_Dynamic_Meta_PreOpe
範囲) ①②門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)
* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
③ 門脈相: 腹部 (上縁) 肝上縁 2 cm 頭側
(下縁) 腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤) 600 mg/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
③ 門脈相: 前相終了 33 sec 後 (GE) (Siemens 33 sec) (63 sec 後標準)
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応) 肝転移術前の血管構築が目的の場合に使用
Precheck) 依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載

4031 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(腹-骨盤部)

* 肝転移術前の血管構築を目的としたプロトコール
オーダー項目) 肝ダイナミック CT【肝転移術前】
装置 protocol) Liver_Dynamic_Meta_PreOpe_Abd_Pelvis
範囲) ①②門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)
* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
③ 門脈相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤) 600 mg/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
③ 門脈相: 前相終了 33 sec 後 (GE) (Siemens 33 sec) (63 sec 後標準)
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応) 肝転移術前の血管構築が目的の場合に使用
骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck) 依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載

4032 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(胸-腹部)

* 肝転移術前の血管構築を目的としたプロトコール
オーダー項目) 肝ダイナミック CT【肝転移術前】
装置 protocol) Liver_Dynamic_Meta_PreOpe_Chest_Abd
範囲) ①②門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)
* 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認
③ 門脈相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側
(下縁) 腸骨上縁と肝下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤) 600 mg/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)

再構成)	③ 門脈相: 前相終了 30 sec 後 (GE) (Siemens 30 sec) (60 sec 後標準) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	肝転移術前の血管構築が目的の場合に使用 胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載

4033 肝ダイナミック CT【肝転移術前】(胸-骨盤部)

* 肝転移術前の血管構築を目的としたプロトコール	
オーダー項目)	肝ダイナミック CT【肝転移術前】
装置 protocol)	Liver_Dynamic_Meta_PreOpe_Chest_Pelvis
範囲)	①②門脈相以外: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) * 単純 CT で撮影範囲が適切であることを確認 ③ 門脈相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mg/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 門脈相: 前相終了 30 sec 後 (GE) (Siemens 30 sec) (60 sec 後標準)
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	肝転移術前の血管構築が目的の場合に使用 胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から双方を妥当と判断した場合
Precheck)	依頼があれば「残肝 volume 測定」と記載

4100 胆・膵ダイナミック CT【炎症】

オーダー項目)	胆・膵ダイナミック CT
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_Infla
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 膵実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 遅延相: 腹部 (上縁) 肝上縁 2 cm 頭側 (下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
造影剤)	600 mg/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 膵実質相: 基準 25 sec 後 (45 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
Precheck)	ダイナミック CT の必要性を検討

4101 胆・膵ダイナミック CT【炎症】(腹-骨盤部)

オーダー項目)	胆・膵ダイナミック CT
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_Infla_Abd_Pelvis
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 膵実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 遅延相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mg/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

① 単純

② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)

③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

適応) 骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合

Precheck) 追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討

4102 胆・膵ダイナミック CT【炎症】(胸-腹部)

オーダー項目) 胆・膵ダイナミック CT

装置 protocol) Pancreas_Dynamic_Infla_Chest_Abd

範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで
* 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。

② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
* 直前の単純画像から範囲を設定する

③ 遅延相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側
(下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

① 単純

② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)

③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像

適応) 胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合

Precheck) 追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討
胸部の異常があっても、胸部についての前回検査との間隔の妥当性も検討

4103 胆・膵ダイナミック CT【炎症】(胸-骨盤部)

オーダー項目) 胆・膵ダイナミック CT

装置 protocol) Pancreas_Dynamic_Infla_Chest_Pelvis

範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで
* 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。

② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
* 直前の単純画像から範囲を設定する

③ 遅延相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

① 単純

② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)

③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像

適応) 胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から双方を妥当と判断した場合

Precheck) 追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討
各部位の前回検査との間隔も考慮する

4110 胆・膵ダイナミック CT【腫瘍】

オーダー項目) 胆・膵ダイナミック CT

装置 protocol) Pancreas_Dynamic_Tumor

範囲) ① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで

	* 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。
造影剤)	② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
時相)	* 直前の単純画像から範囲を設定する
	③ 門脈相: 腹部 (上縁) 肝上縁 2 cm 頭側
	(下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
	④ 平衡相: 脾実質相と同一範囲
	600 mgI/kg、30 sec 注入
	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 13 sec 後(GE) (Siemens 14 sec) (63 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 追加
Precheck)	ダイナミック CT の必要性を検討
	神経内分泌腫瘍(NET)の経過観察では遅延相を省略

4111 胆・脾ダイナミック CT【腫瘍】(腹-骨盤部)

オーダー項目)	胆・脾ダイナミック CT
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_Tumor_Abd_Pelvis
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで
	* 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。
	② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
	* 直前の単純画像から範囲を設定する
	③ 門脈相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
	④ 平衡相: 脾実質相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 13 sec 後(GE) (Siemens 14 sec) (63 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討
	神経内分泌腫瘍(NET)の経過観察では遅延相を省略

4112 胆・脾ダイナミック CT【腫瘍】(胸-腹部)

オーダー項目)	胆・脾ダイナミック CT
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_Tumor_Chest_Abd
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで
	* 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。
	② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで
	* 直前の単純画像から範囲を設定する
	③ 門脈相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側
	(下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方
	④ 平衡相: 脾実質相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

	① 単純
	② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準)
	③ 門脈相: 前相終了 10 sec 後(GE) (Siemens 11 sec) (60 sec 後標準)
	④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹冠状断 MPR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討 胸部の異常があっても、胸部についての前回検査との間隔の妥当性も検討 神経内分泌腫瘍(NET)の経過観察では遅延相を省略

4113 胆・脾ダイナミック CT【腫瘍】(胸-骨盤部)

オーダー項目)	胆・脾ダイナミック CT
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_Tumor_Chest_Pelvis
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 脾実質相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 門脈相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで) ④ 平衡相: 脾実質相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 脾実質相: 基準 25 sec 後(45 sec 後標準) ③ 門脈相: 前相終了 10 sec 後(GE) (Siemens 11 sec) (60 sec 後標準) ④ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から双方を妥当と判断した場合
Precheck)	追加撮影の妥当性、ダイナミック CT の必要性を検討 各部位の前回検査との間隔も考慮する 神経内分泌腫瘍(NET)の経過観察では遅延相を省略

4120 胆・脾ダイナミック CT【術前】

オーダー項目)	胆・脾ダイナミック CT【術前】
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_PreOpe
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 早期動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 脾実質相: 早期動脈相と同一範囲 ④ 門脈相: 腹部 (上縁) 肝上縁 2 cm 頭側 (下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方 ⑤ 平衡相: 早期動脈相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 脾実質相: 前相終了 15 sec 後(GE) (Siemens 15 sec) (45 sec 後標準) ④ 門脈相: 前相終了 13 sec 後(GE) (Siemens 14 sec) (63 sec 後標準)

	⑤ 平衡相: 3分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加

4121 胆・膵ダイナミック CT【術前】(腹-骨盤部)

オーダー項目)	胆・膵ダイナミック CT【術前】
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_PreOpe_Abd_Pelvis
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 早期動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 膵実質相: 早期動脈相と同一範囲 ④ 門脈相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで) ⑤ 平衡相: 早期動脈相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 膵実質相: 前相終了 15 sec 後 (GE) (Siemens 15 sec) (45 sec 後標準) ④ 門脈相: 前相終了 13 sec 後 (GE) (Siemens 14 sec) (63 sec 後標準) ⑤ 平衡相: 3分 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	骨盤部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合

4122 胆・膵ダイナミック CT【術前】(胸-腹部)

オーダー項目)	胆・膵ダイナミック CT【術前】
装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_PreOpe_Chest_Abd
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 早期動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 膵実質相: 早期動脈相と同一範囲 ④ 門脈相: 胸-腹部 (上縁) 肺尖 2 cm 頭側 (下縁) 腸骨上縁と十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側のうち尾側の方 ⑤ 平衡相: 早期動脈相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 膵実質相: 前相終了 15 sec 後 (GE) (Siemens 15 sec) (45 sec 後標準) ④ 門脈相: 前相終了 10 sec 後 (GE) (Siemens 11 sec) (60 sec 後標準) ⑤ 平衡相: 3分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	胸部追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から妥当と判断した場合

4123 胆・膵ダイナミック CT【術前】(胸-骨盤部)

オーダー項目)	胆・膵ダイナミック CT【術前】
---------	------------------

装置 protocol)	Pancreas_Dynamic_PreOpe_Chest_Pelvis
範囲)	① 単純: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁 2 cm 尾側まで * 過去画像や他院画像がある場合は、その画像を参照する。 ② 早期動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から十二指腸水平脚下縁 2 cm 尾側まで * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 脾実質相: 早期動脈相と同一範囲 ④ 門脈相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで) ⑤ 平衡相: 早期動脈相と同一範囲
造影剤)	600 mgI/kg, 30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 脾実質相: 前相終了 15 sec 後 (GE) (Siemens 15 sec) (45 sec 後標準) ④ 門脈相: 前相終了 10 sec 後 (GE) (Siemens 11 sec) (60 sec 後標準) ⑤ 平衡相: 3 分 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他)	胆嚢疾患の場合は、平衡相で胆嚢長軸に合わせた MPR 像追加
適応)	胸部および骨盤部の追加依頼があり、「特別指示」欄の記載等から双方を妥当と判断した場合

4200 胸-腹部 CT 造影【食道術前】

オーダー項目)	胸-腹部 CT 造影【食道術前】
装置 protocol)	Chest_Abd_PreOpe_Esophagus
範囲)	① 単純: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 胸部 (肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで) ③ 遅延相: 胸-腹部 (肺尖 2 cm 頭側から腸骨上縁まで)
造影剤)	600 mgI/kg, 20 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐で大動脈の CT 値 > 200) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像

4201 胸-骨盤部 CT 造影【食道術前】

オーダー項目)	胸-腹部 CT 造影【食道術前】
装置 protocol)	Chest_Pelvis_PreOpe_Esophagus
範囲)	① 単純: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 胸部 (肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで) ③ 遅延相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg, 20 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐で大動脈の CT 値 > 200) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	骨盤部追加依頼があり、妥当と判断した場合

4202 頸-腹部 CT 造影【食道術前】

オーダー項目)	頸-腹部 CT 造影【食道術前】
装置 protocol)	Neck_Abd_PreOpe_Esophagus

範囲)	① 単純: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 胸部 (肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで) ③ 遅延相: 頸-腹部 (上咽頭上縁から腸骨上縁まで)
造影剤)	600 mgI/kg、20 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐で大動脈の CT 値 > 200) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、頸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像

4203 頸-骨盤部 CT 造影【食道術前】

オーダー項目)	頸-腹部 CT 造影【食道術前】
装置 protocol)	Neck__Pelvis_PreOpe_Esophagus
範囲)	① 単純: 全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 胸部 (肺尖 2 cm 頭側から肺底部まで) ③ 遅延相: 頸-骨盤部 (上咽頭上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg、20 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐で大動脈の CT 値 > 200) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、頸骨盤部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	骨盤部追加依頼があり、妥当と判断した場合

4210 腹-骨盤部 CT 造影【胃術前】

オーダー項目)	腹-骨盤部 CT 造影【胃術前】
装置 protocol)	Abd__Pelvis_PreOpe_Stomach
範囲)	① 単純: 全肝・胃 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側かつ胃下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 単純と同一範囲 * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 遅延相: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他)	発泡剤使用

4211 胸-骨盤部 CT 造影【胃術前】

オーダー項目)	胸-骨盤部 CT 造影【胃術前】
装置 protocol)	Chest__Pelvis_PreOpe_Stomach
範囲)	① 単純: 全肝・胃 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側かつ胃下縁 2 cm 尾側まで) ② 早期動脈相: 単純と同一範囲 * 直前の単純画像から範囲を設定する ③ 遅延相: 胸-骨盤部 (肺尖 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準) ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
その他) **発泡剤使用**

4220 腹-骨盤部 CT 造影【大腸術前】

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影【大腸術前】
装置 protocol) Abd__Pelvis_PreOpe_Colon
範囲) ① 単純: **全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)**
② 早期動脈相: **腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)**
③ 遅延相: **早期動脈相と同一範囲**
造影剤) **600 mgI/kg、30 sec 注入**
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈の CT 値 > 100**)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
③ 遅延相: **1 分 30 秒 後撮影**
再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像、血管 VR 像

4221 胸-骨盤部 CT 造影【大腸術前】

オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影【大腸術前】
装置 protocol) Chest__Pelvis_PreOpe_Colon
範囲) ① 単純: **全肝 (肝上縁 2 cm 頭側から肝下縁 2 cm 尾側まで)**
② 早期動脈相: **腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)**
③ 遅延相: **胸-骨盤部 (肺炎 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)**
造影剤) **600 mgI/kg、30 sec 注入**
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈の CT 値 > 100**)
① 単純
② 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
③ 遅延相: **1 分 30 秒 後撮影**
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像

4240 胸-骨盤部 CT 造影【腎移植術前】

* 腎移植術前の血管確認目的
オーダー項目) 胸-骨盤部 CTA
装置 protocol) Chest__Pelvis_PreOpe_Kidney_Transplant
範囲) ① 早期動脈相: **腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)**
② 遅延相: **胸-骨盤部 (肺炎 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)**
造影剤) **550 mgI/kg、27 sec 注入**
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈の CT 値 > 100**)
① 早期動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
② 遅延相: **2 分 30 秒 後撮影**
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像、血管構築用画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応) **胸-骨盤部 CTA オーダで依頼情報に「腎移植前」と記載がある場合**

4300 腎臓ダイナミック CT(腹部)

オーダー項目) 腎臓ダイナミック CT(腹部)
装置 protocol) Kidney_Dynamic_Abd
範囲) ① 単純: **左右横隔膜の高位側上縁 3 cm 尾側から腸骨上縁まで**
* 低体重患者では、腎下縁が腸骨稜より尾側の場合がある。リーダー技師等に相談
* 参照可能な過去画像等があれば、腎上縁かつ**腎動静脈起始部**の 3 cm 頭側から、

腎下縁 3 cm 尾側までとする

- ② 皮髄相: 撮影した単純画像から、**腎上縁 3 cm 頭側**から**腎下縁 3 cm 尾側**までに設定
* **腎動静脈起始部**が腎より頭側または尾側の場合は、起始部から 3 cm とする
- ③ 実質相: **腹部** (上縁)**肝上縁 2 cm 頭側**
(下縁)**腸骨上縁**と**腎下縁 3 cm 尾側**のうち尾側の方
- ④ 排泄相: **皮髄相と同一範囲**

造影剤) **600 mgI/kg、30 sec** 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **皮髄相撮影開始位置で大動脈**の CT 値 > 100)

① 単純

② 皮髄相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)

③ 実質相: **1 分 30 秒** 後撮影

④ 排泄相: **3 分** 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

Precheck) **腎臓ダイナミック CT は腎腫瘍診断用。それ以外なら変更を検討。**
腫瘍術後フォロー 「**胸-骨盤部 CT 造影**」、「**腹-骨盤部 CT 造影**」
結石 「**腎-膀胱 CT 単純**」、「**腎-膀胱 CT 単純+低線量 CTU**」

4301 腎臓ダイナミック CT(腹-骨盤部)

オーダー項目) 腎臓ダイナミック CT(腹-骨盤部)

装置 protocol) Kidney_Dynamic_Abd_Pelvis

範囲) ① 単純: **左右横隔膜の高位側上縁 3 cm 尾側**から**腸骨上縁**まで
* 低体重患者では、腎下縁が腸骨稜より尾側の場合がある。リーダー技師等に相談
* 参照可能な過去画像等があれば、**腎上縁**かつ**腎動静脈起始部**の 3 cm 頭側から、**腎下縁 3 cm 尾側**までとする

② 皮髄相: 撮影した単純画像から、**腎上縁 3 cm 頭側**から**腎下縁 3 cm 尾側**までに設定
* **腎動静脈起始部**が腎より頭側または尾側の場合は、起始部から 3 cm とする

③ 実質相: **肝上縁 2 cm 頭側**から**坐骨下縁 1 cm 尾側**まで

④ 排泄相: **皮髄相と同一位置**から**坐骨下縁 1 cm 尾側**まで

造影剤) **600 mgI/kg、30 sec** 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **皮髄相撮影開始位置で大動脈**の CT 値 > 100)

① 単純

② 皮髄相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)

③ 実質相: **1 分 30 秒** 後撮影

④ 排泄相: **3 分** 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

Precheck) **腎臓ダイナミック CT は腎腫瘍診断用。それ以外なら変更を検討。**
腫瘍術後フォロー 「**腹-骨盤部 CT 造影**」
結石 「**腎-膀胱 CT 単純**」、「**腎-膀胱 CT 単純+低線量 CTU**」

4302 腎臓ダイナミック CT(胸-骨盤部)

オーダー項目) 腎臓ダイナミック CT(胸-骨盤部)

装置 protocol) Kidney_Dynamic_Chest_Pelvis

範囲) ① 単純: **左右横隔膜の高位側上縁 3 cm 尾側**から**腸骨上縁**まで
* 低体重患者では、腎下縁が腸骨稜より尾側の場合がある。リーダー技師等に相談
* 参照可能な過去画像等があれば、**腎上縁**かつ**腎動静脈起始部**の 3 cm 頭側から、**腎下縁 3 cm 尾側**までとする

② 皮髄相: 撮影した単純画像から、**腎上縁 3 cm 頭側**から**腎下縁 3 cm 尾側**までに設定
* **腎動静脈起始部**が腎より頭側または尾側の場合は、起始部から 3 cm とする

③ 実質相: **肺尖 2 cm 頭側**から**坐骨下縁 1 cm 尾側**まで

④ 排泄相: **皮髄相と同一位置**から**坐骨下縁 1 cm 尾側**まで

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 皮髄相撮影開始位置で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 皮髄相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (27 sec 後標準)
 ③ 実質相: 1 分 30 秒 後撮影
 ④ 排泄相: 3 分 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像、
 Precheck) 腎臓ダイナミック CT は腎腫瘍診断用。それ以外なら以下のような変更を検討。
 腫瘍術後フォロー 「胸-骨盤部 CT 造影」、「腹-骨盤部 CT 造影」
 結石 「腎-膀胱 CT 単純」、「腎-膀胱 CT 単純+低線量 CTU」

4400 腹-骨盤部ダイナミック CT

オーダー項目) 腹-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Abd__Pelvis_Acute
 範囲) 全相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 動脈相: 基準 20 sec 後 (40 sec 後標準)
 ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像
 適応) 当日緊急であって、以下に該当する場合に使用
 症状が強い(急性腹症)。下血。

4401 腹-骨盤部ダイナミック CT(胸-骨盤部)

オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) Chest__Pelvis_Acute
 範囲) ① 単純: 腹-骨盤部 (肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
 ② 動脈相: 単純と同一範囲
 ③ 遅延相: 胸-骨盤部 (肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで)
 造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 動脈相: 基準 20 sec 後 (40 sec 後標準)
 ③ 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、胸骨盤部冠状断 MPR 像
 適応) 当日緊急であって、以下に該当する場合に使用
 症状が強い(急性腹症)。下血。
 胸部の必要性が認められる場合に限る

4500 副腎静脈サンプリング前 CT

* 副腎静脈相のみ 100 kV

オーダー項目) 副腎静脈サンプリング前 CT
 装置 protocol) Adrenal_V_Sampling
 範囲) ① 単純: 左右横隔膜の高い方の 1cm 下から L4 上縁まで
 ② 副腎静脈相: 単純 CT を見て、下記の範囲に絞る
 (上縁) 両側副腎上縁の高い方より 3cm 頭側から
 (下縁) 左腎静脈の全走行を含む
 ③ 遅延相: 肝上縁 2cm 頭側から坐骨下縁 1cm 尾側まで

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 副腎上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 副腎静脈相: 基準 36 秒後 (56 sec 後標準)
 ③ 遅延相: 2 分 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部冠状断 MPR 像

4600 肺塞栓 CT【early BH】

* 吸気に伴う還流が落ち着いてからの撮影
 IC レコーダとスピーカーを用い、早期に息止めの合図を行う
 * 呼吸状態が悪く、息止めが特に困難と判断された場合には【late BH】を使用

オーダー項目) 肺塞栓 CT
 装置 protocol) PE_early_BH
 範囲) 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
 造影剤) 400 mgI/kg、20 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100)
 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準)
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像

4601 肺塞栓 CT【late BH】

* 呼吸状態が悪く、息止めが困難と判断された場合に使用

オーダー項目) 肺塞栓 CT
 装置 protocol) PE_late_BH
 範囲) 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
 造影剤) 400 mgI/kg、20 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100)
 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準)
 再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像
 Precheck) Precheck では選択しない。

4610 肺塞栓+深部静脈 CT【early BH】

* 吸気に伴う還流が落ち着いてからの撮影
 IC レコーダとスピーカーを用い、早期に息止めの合図を行う
 * 呼吸状態が悪く、息止めが特に困難と判断された場合には【late BH】を使用

注意) Siemens では、深部静脈相を大腿骨中位で分割し、遠位は高線量で撮影する
 オーダー項目) 肺塞栓+深部静脈 CT
 装置 protocol) PE__DVT_early_BH
 範囲) ① 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
 ② 遅延相: 腸骨上縁から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 【Siemens の場合】
 ② 遅延相 1: 腸骨上縁から大転子上縁と大腿骨下縁の中位まで
 ③ 遅延相 2: 大転子上縁と大腿骨下縁の中位から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100)
 ① 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準)
 ② 遅延相: 5 分 後撮影
 【Siemens の場合】
 ② 遅延相 1: 5 分 後撮影
 ③ 遅延相 2: 遅延相 1 終了の 3 sec 後 (自動スタート)

再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 深部静脈血栓が疑われる場合
最近の検査で深部静脈血栓が除外されている場合などは、肺塞栓 CT 単独に変更

4611 肺塞栓+深部静脈 CT【late BH】

* 呼吸状態が悪く、息止めが困難と判断された場合に使用

注意) Siemens では、深部静脈相を大腿骨中位で分割し、遠位は高線量で撮影する
オーダー項目) 肺塞栓+深部静脈 CT
装置 protocol) PE__DVT_late_BH
範囲) ① 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
② 遅延相: 腸骨上縁から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
【Siemens の場合】
② 遅延相 1: 腸骨上縁から大転子上縁と大腿骨下縁の中位まで
③ 遅延相 2: 大転子上縁と大腿骨下縁の中位から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100)
① 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準)
② 遅延相: 5 分 後撮影
【Siemens の場合】
② 遅延相 1: 5 分 後撮影
③ 遅延相 2: 遅延相 1 終了の 3 sec 後 (自動スタート)
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 深部静脈血栓が疑われる場合
最近の検査で深部静脈血栓が除外されている場合などは、肺塞栓 CT 単独に変更
Precheck) Precheck では選択しない。

4620 胸-骨盤部 CT 造影【肺塞栓精査 early BH】

* 胸-骨盤部 CT 造影オーダーで、依頼内容に肺動脈相追加依頼が明示されている場合に使用。

* 遅延相の範囲は腹-骨盤部に限定。胸部は肺動脈相のみ。

* 吸気に伴う還流が落ち着いてからの撮影

IC レコーダとスピーカーを用い、早期に息止めの合図を行う

* 呼吸状態が悪く、息止めが特に困難と判断された場合には【late BH】を使用

オーダー項目) 胸-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) Chest__Pelvis_PE_early_BH
範囲) ① 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
② 遅延相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100)
① 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準)
② 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
適応) 依頼内容に肺動脈相追加依頼が明確に記載されている場合
Precheck) 肺動脈相では、上大静脈を通過する造影剤からのアーチファクトが、肺野に多少影響することがあると依頼医に伝え、了承を得る事。

4621 胸-骨盤部 CT 造影【肺塞栓精査 late BH】

* 胸-骨盤部 CT 造影オーダーで、依頼内容に肺動脈相追加依頼が明示されている場合に使用。

* 遅延相の範囲は腹-骨盤部に限定。胸部は肺動脈相のみ。

* 呼吸状態が悪く、息止めが困難と判断された場合に使用

オーダー項目)	胸-骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	Chest__Pelvis_PE_late_BH
範囲)	① 肺動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで ② 遅延相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で肺動脈の CT 値 > 100) ① 肺動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (22 sec 後標準) ② 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、肺野画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
適応)	依頼内容に肺動脈相追加依頼が明確に記載されている場合
Precheck)	Precheck では選択しない。
Precheck)	肺動脈相では、上大静脈を通過する造影剤からのアーチファクトが、肺野に多少影響することがあると依頼医に伝え、了承を得る事。

CTA

【頸部～】

5000 頸-骨盤部 CTA 単純

オーダー項目)	頸-骨盤部 CTA 単純、頸-骨盤部 CT 単純
装置 protocol)	CTA__Neck__Pelvis_P
範囲)	第 3 頸椎椎体上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成)	血管画像、血管構築用画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、頸胸部血管冠状断 MPR 像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像

5001 頸-骨盤部 CTA

オーダー項目)	頸-骨盤部 CTA、頸-骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	CTA__Neck__Pelvis_C
範囲)	全相: 第 3 頸椎椎体上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 動脈相で最初のスライスに解離腔などがあれば、遅延相で頭蓋底から撮影
造影剤)	550 mgI/kg、2 相注入 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、頸胸部血管冠状断 MPR 像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck)	「動脈相撮影終了時に第 1 スライスの異常を確認」と記載

5003 頸-骨盤部 CTA(単純追加)

オーダー項目)	頸-骨盤部 CTA、頸-骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	CTA__Neck__Pelvis_P_C
範囲)	① 単純: Precheck で指定された範囲 ② 動脈相: 第 3 頸椎椎体上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲 * 動脈相で第 1 スライスに解離腔などがあれば、遅延相で頭蓋底から撮影
造影剤)	550 mgI/kg、2 相注入 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与

時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈 の CT 値 > 100)
	① 単純
	② 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
	③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、頸胸部血管冠状断 MPR 像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck)	単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)
Precheck)	「動脈相撮影終了時に第 1 スライスの異常の確認」と記載

5010 頸-骨盤部 CTA(TAVI 術前)

* TAVI 術前で冠動脈精査を同時に行う	
オーダー項目)	頸-骨盤部 CTA【TAVI 術前】
装置 protocol)	CTA__Neck__Pelvis_TAVI
範囲)	① 単純: 気管分岐部から心臓下縁まで (カルシウムスコアリング画像) ② 冠動脈相: 気管分岐部から心膜下縁より 5 スライス尾側まで ③ 動脈相: 第 3 頸椎椎体上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤)	440 mg/kg、22 sec 注入 (20 mg/kg/sec で 22 sec 注入)
時相)	① 単純 ② 冠動脈相 (心電図同期撮影) Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法) 気管分岐部で上行大動脈の test peak に 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 気管分岐部で上行大動脈 の CT 値 > 100) 冠動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens) ③ 動脈相: 前相終了 6 sec 後 (非同期撮影)
心電図同期照射)	冠動脈相: 0~100 %
再構成)	カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像血管画像、大動脈計測用画像 (20~40 %、5 %間隔) 血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	CTCA: カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像、冠動脈 MIP 像、冠動脈 VR 像、Curved MPR 像、Stretched CPR 像 TAVI: 大動脈計測用画像、血管画像、血管構築用画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像、大動脈弁断層像 MPR 像、大動脈弁矢状断 MPR 像
その他)	ミオコールは使用しない

5011 頸-骨盤部 CTA(TAVI 術前 CABG 後)

* TAVI 術前で冠動脈精査を同時に行う	
* 依頼情報に「CABG 後」とある場合に使用	
オーダー項目)	頸-骨盤部 CTA【TAVI 術前】
装置 protocol)	CTA__Neck__Pelvis_TAVI_CABG
範囲)	① 単純: 気管分岐部から心臓下縁まで (カルシウムスコアリング画像) ② 冠動脈相: 胸鎖関節上縁 1cm 頭側から心膜下縁より 5 スライス尾側まで ③ 動脈相: 第 3 頸椎椎体上縁から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤)	500 mg/kg、25 sec 注入 (20 mg/kg/sec で 22 sec 注入)
時相)	① 単純 ② 冠動脈相 (心電図同期撮影) Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法) 気管分岐部で上行大動脈の test peak に 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 気管分岐部で上行大動脈 の CT 値 > 100) 冠動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens) ③ 動脈相: 前相終了 6 sec 後 (非同期撮影)
心電図同期照射)	冠動脈相: 0~100 %

再構成)	カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像血管画像、大動脈計測用画像(20~40 %、5 %間隔)血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	CTCA: カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像、冠動脈 MIP 像、冠動脈 VR 像、Curved MPR 像、Stretched CPR 像 TAVI: 大動脈計測用画像、血管画像、血管構築用画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像、大動脈弁断層像 MPR 像、大動脈弁矢状断 MPR 像
その他)	ミオコールは使用しない
適応)	依頼情報に「CABG 後」とある場合

【胸部～】

5100 胸部 CTA 単純

オーダー項目)	胸部 CTA 単純、胸部 CT 単純
装置 protocol)	CTA__Chest_P
範囲)	肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
再構成)	血管画像、血管構築用画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像

5101 胸部 CTA

オーダー項目)	胸部 CTA、胸部 CT 造影
装置 protocol)	CTA__Chest_C
範囲)	全相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
造影剤)	550 mgI/kg、2 相注入 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で下行大動脈の CT 値 > 100) ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) ② 遅延相: 2 分 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
適応)	依頼内容に「血痰」や「喀血」と記載があった場合は、「5106 胸部 CTA(喀血精査)」の適応と、適応の場合は遅延相の必要性について相談する

5103 胸部 CTA(単純追加)

オーダー項目)	胸部 CTA、胸部 CT 造影
装置 protocol)	CTA__Chest_P_C
範囲)	① 単純: Precheck で指定された範囲 ② 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
造影剤)	550 mgI/kg、2 相注入 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で下行大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) ③ 遅延相: 2 分 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck)	単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)
適応)	依頼内容に「血痰」や「喀血」と記載があった場合は、「5106 胸部 CTA(喀血精査)」の適応と、適応の場合は遅延相の必要性について相談する

5105 胸部 CTA(肺術前)

オーダー項目)	胸部 CTA【肺術前】
装置 protocol)	CTA__Chest_PreOpe
範囲)	全相: 肺尖部 2 cm 頭側から肺底部まで
造影剤)	24 mgI/kg/sec、12 sec 注入
時相)	Test injection 法で撮影開始時間を算出する ① 肺動脈相: 肺動脈の test peak に 2 sec を加算した時間 (test peak の CT 値が 250 以上の場合は加算しない) ② 肺静脈相: 肺静脈の到達時間に注入時間(12 sec)を加算した時間
再構成)	血管画像(GE)、血管 thin slice 画像、血管構築用、肺野画像
Main サーバ)	血管 thin slice 画像、肺野画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	依頼内容に「血痰」や「喀血」と記載があった場合は、「5106 胸部 CTA(喀血精査)」の適応と、適応の場合は遅延相の必要性について相談する

5106 胸部 CTA(喀血精査)

* 喀血に対する IVR 適応の可否を判断する前精査のために、単純と肺動脈相と動脈相を撮影	
肺動脈相: 肺動脈のみ造影されるタイミング	
動脈相: 気管支動脈、左胃動脈、下横隔膜動脈が造影されるタイミング	
オーダー項目)	胸部 CTA
装置 protocol)	CTA__Chest_Hemoptysis
範囲)	① 単純: 肺尖部から肺底部まで ② 肺動脈相: 単純と同一範囲 ③ 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から第 1 腰椎椎体下縁まで
造影剤)	24 mgI/kg/sec、15 sec 注入
時相)	① 単純 Test injection 法で撮影開始時間を算出する ② 肺動脈相: 肺動脈の test peak に 2 sec を加算した時間 (test peak の CT 値が 250 以上の場合は加算しない) ③ 動脈相: 肺静脈の到達時間に注入時間(15 sec)を加算した時間
再構成)	血管画像(GE)、血管 thin slice 画像、血管構築用、肺野画像
Main サーバ)	血管 thin slice 画像、肺野画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	依頼内容に「血痰」や「喀血」と記載があった場合は、放射線診断医に適応および遅延相の必要性についてを相談する

5108 胸部 CTA(心電図同期)

オーダー項目)	胸部 CTA
装置 protocol)	CTA__Chest_ECG
範囲)	全相: Preccheck で指定された範囲
造影剤)	550 mgI/kg、2 相注入 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で大動脈の CT 値 > 100) ① 動脈相: 基準 6 sec 後(Siemens) ② 遅延相: 2 分 後撮影
心電図同期照射)	全相: 70 %
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
適応)	大動脈解離で、過去検査で上行大動脈に心拍動によるモーションアーチファクトが問題になった場合

5109 胸部 CTA(動脈管評価)

* 動脈管開存症のカテーテル治療前の評価目的

オーダー項目)	胸部 CTA
---------	--------

装置 protocol) CTA__Chest_PDA
 範囲) 大動脈弓部上縁 2cm 頭側から心臓下縁まで
 造影剤) 24 mgI/kg/sec、20 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で上行大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens)
 心電図同期照射) 20~50 %
 再構成) 血管画像、動脈管用拡大画像 (20~50%、10%間隔)
 Main サーバ) 血管画像、動脈管用拡大画像 (最適位相)、動脈管矢状断 MPR 像、動脈管 VR 像
 適応) 「動脈管閉存症の治療前 CTA」と記載がある場合

5110 胸-骨盤部 CTA 単純

オーダー項目) 胸-骨盤部 CTA 単純、胸-骨盤部 CT 単純
 装置 protocol) CTA__Chest__Pelvis_P
 範囲) 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像

5111 胸-骨盤部 CTA

オーダー項目) 胸-骨盤部 CTA、胸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) CTA__Chest__Pelvis_C
 範囲) 全相: 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、2 相注入
 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入
 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
 ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 血管 MIP 像、血管 VR 像

5113 胸-骨盤部 CTA (単純追加)

オーダー項目) 胸-骨盤部 CTA、胸-骨盤部 CT 造影
 装置 protocol) CTA__Chest__Pelvis_P_C
 範囲) ① 単純: Precheck で指定された範囲
 ② 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
 造影剤) 550 mgI/kg、2 相注入
 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入
 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
 ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 血管 MIP 像、血管 VR 像
 Precheck) 単純の撮影範囲を記載 (「単純追加基準」を参照)

5116 胸-骨盤部 CTA (心電図同期)

オーダー項目) 胸-骨盤部 CTA
 装置 protocol) CTA__Chest__Pelvis_ECG

範囲) ① 胸部動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から心臓下縁まで
 ② 腹部動脈相: 胸部動脈相の終了位置 1cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 ③ 遅延相: 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側

造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で上行大動脈の CT 値 > 100)
 ① 胸部動脈相: 基準 7 sec 後 (心電図同期撮影)
 ② 腹部動脈相: 前相終了 5 sec 後 (非同期撮影)
 ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影 (非同期撮影)

心電図同期照射) 胸部動脈相: 70 %

再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像

Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

5120 胸-下肢 CTA 単純

オーダー項目) 胸-下肢 CTA 単純

装置 protocol) CTA__Chest__Leg_P

範囲) 肺尖部 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで

再構成) 血管画像、血管構築用画像、肺野画像、

Main サーバ) 血管画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像

5121 胸-下肢 CTA

オーダー項目) 胸-下肢 CTA

装置 protocol) CTA__Chest__Leg_C

範囲) ① 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 ② 遅延相: 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入

時相) ① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 造影剤到達時間①を算出 (膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)
 (GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する
 (Siemens) 「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

$$\text{撮影開始までの Delay time [sec]②} = \text{造影剤到達時間 [sec]①} - \text{撮影時間[sec]③}$$

 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
 ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、

Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

5123 胸-下肢 CTA (ASO)

* 動脈相でも遅延相でも下肢を撮影 (通常の下肢 CTA では動脈相のみ下肢を撮影)

オーダー項目) 胸-下肢 CTA

装置 protocol) CTA__Chest__Leg_ASO

範囲) 全相: 肺尖部 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで

造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入

時相) ① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 造影剤到達時間①を算出 (膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)
 (GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する
 (Siemens) 「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

$$\text{撮影開始までの Delay time [sec]②} = \text{造影剤到達時間 [sec]①} - \text{撮影時間[sec]③}$$

 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)

再構成) ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
 適応) 下肢血管疾患

5125 胸-下肢 CTA(単純追加)

オーダー項目) 胸-下肢 CTA
 装置 protocol) CTA__Chest__Leg_P_C
 範囲) ① 単純: Precheck で指定された範囲
 ② 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 ③ 遅延相: 肺尖部 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)
 (GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する
 (Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

$$\text{撮影開始までの Delay time [sec]②} = \text{造影剤到達時間 [sec]①} - \text{撮影時間[sec]③}$$

 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
 ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
 Precheck) 単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5127 胸-下肢 CTA(ASO 単純追加)

* 動脈相でも遅延相でも下肢を撮影(通常の下肢 CTA では動脈相のみ下肢を撮影)
 オーダー項目) 胸-下肢 CTA
 装置 protocol) CTA__Chest__Leg_ASO_P
 範囲) ① 単純: Precheck で指定された範囲
 ② 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
 造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)
 (GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する
 (Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

$$\text{撮影開始までの Delay time [sec]②} = \text{造影剤到達時間 [sec]①} - \text{撮影時間[sec]③}$$

 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
 ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
 適応) 下肢血管疾患で、単純追加基準に該当する場合
 Precheck) 単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5150 胸-腹部 CTA 単純

オーダー項目) 胸-腹部 CTA 単純、胸-腹部 CT 単純

装置 protocol) CTA__Chest__Abd_P
 範囲) 肺尖部 2 cm 頭側から岬角まで
 ※参照可能な画像があれば、肺尖部 2 cm 頭側から総腸骨動脈分岐部 2cm 尾側まで
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像
 適応) 胸腹部血管疾患の経過観察に使用

5151 胸-腹部 CTA

オーダー項目) 胸-腹部 CTA、胸-腹部 CT 造影
 装置 protocol) CTA__Chest__Abd_C
 範囲) 全相: 肺尖部 2 cm 頭側から岬角まで
 ※参照可能な画像があれば、肺尖部 2 cm 頭側から総腸骨動脈分岐部 2cm 尾側まで
 造影剤) 550 mgI/kg、2 相注入
 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入
 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
 ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 血管 MIP 像、血管 VR 像
 適応) 胸腹部血管疾患の経過観察に使用

5153 胸-腹部 CTA(単純追加)

オーダー項目) 胸-腹部 CTA、胸-腹部 CT 造影
 装置 protocol) CTA__Chest__Abd_P_C
 範囲) ① 単純: Precheck で指定された範囲
 ② 動脈相: 肺尖部 2 cm 頭側から岬角まで
 ※参照可能な画像があれば、肺尖部 2 cm 頭側から総腸骨動脈分岐部 2cm 尾側まで
 ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
 造影剤) 550 mgI/kg、2 相注入
 注入 1 相目: 20 mgI/kg/sec で 20 sec 注入
 注入 2 相目: 1 相目の終了 10 sec 後から投与予定量の残量を 2 ml/sec で投与
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 単純
 ② 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
 ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、肺野画像、胸部血管矢状断 MPR 像、腹部血管冠状断 MPR 像、
 血管 MIP 像、血管 VR 像
 適応) 胸腹部血管疾患の経過観察に使用
 Precheck) 単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

【腹部～】

5200 腹-骨盤部 CTA 単純

オーダー項目) 腹-骨盤部 CTA 単純、腹-骨盤部 CT 単純
 装置 protocol) CTA__Abd__Pelvis_P
 範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 再構成) 血管画像、血管構築用画像
 Main サーバ) 血管画像、腹部血管冠状断 MPR 像

5201 腹-骨盤部 CTA

オーダー項目) 腹-骨盤部 CTA、腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) CTA__Abd__Pelvis_C
範囲) 全相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

5203 腹-骨盤部 CTA(単純追加)

オーダー項目) 腹-骨盤部 CTA、腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol) CTA__Abd__Pelvis_P_C
範囲) ① 単純: Precheck で指定された範囲
② 動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
① 単純
② 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck) 単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5210 腹-下肢 CTA 単純

オーダー項目) 腹-下肢 CTA 単純
装置 protocol) CTA__Abd__Leg_P
範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
再構成) 血管画像、血管構築用画像
Main サーバ) 血管画像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像

5211 腹-下肢 CTA

オーダー項目) 腹-下肢 CTA
装置 protocol) CTA__Abd__Leg_C
範囲) ① 動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
② 遅延相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
時相) ① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)
(GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する
(Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する
撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③
Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、
下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

5213 腹-下肢 CTA(ASO)

* 動脈相でも遅延相でも下肢を撮影(通常の下肢 CTA では動脈相のみ下肢を撮影)

オーダー項目)	腹-下肢 CTA ASO および下肢血管疾患の場合に使用する
装置 protocol)	CTA__Abd__Leg_AS0
範囲)	全相: 肝上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
造影剤)	550 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法) 造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間) (GE)管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する (Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する 撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③ Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec) ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、 下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
適応)	下肢血管疾患

5215 腹-下肢 CTA(単純追加)

オーダー項目)	腹-下肢 CTA
装置 protocol)	CTA__Abd__Leg_P_C
範囲)	① 単純: Precheck で指定された範囲 ② 動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで ③ 遅延相: 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤)	550 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	① 単純 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法) 造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間) (GE)管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する (Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する 撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③ Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec) ③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、 下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck)	単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5217 腹-下肢 CTA(ASO 単純追加)

* 動脈相でも遅延相でも下肢を撮影(通常の下肢 CTA では動脈相のみ下肢を撮影)

オーダー項目)	腹-下肢 CTA ASO および下肢血管疾患の場合に使用する
装置 protocol)	CTA__Abd__Leg_AS0_P
範囲)	① 単純: Precheck で指定された範囲 ② 動脈相: 肝上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで ③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
造影剤)	550 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	① 単純 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)

造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)

(GE)管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する

(Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③

Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)

③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、大腿部血管冠状断 MPR 像、
下腿部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

適応) 下肢血管疾患で、単純追加基準に該当する場合

Precheck) 単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5251 腹部 CTA

オーダー項目) 腹部 CTA、腹部 CT 造影

装置 protocol) CTA__Abd_C

範囲) 全相: 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで

造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

① 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)

② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

【骨盤部～】

5300 骨盤-下肢 CTA 単純

オーダー項目) 骨盤-下肢 CTA 単純

装置 protocol) CTA__Pelvis__Leg_P

範囲) 腸骨上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで

再構成) 血管画像、血管構築用画像

Main サーバ) 血管画像、骨盤大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像

5301 骨盤-下肢 CTA

オーダー項目) 骨盤-下肢 CTA

装置 protocol) CTA__Pelvis__Leg_C

範囲) 全相: 腸骨上縁 2 cm 頭側から下腿骨 2 cm 遠位まで

造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入

時相) ① 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)

造影剤到達時間①を算出(膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間)

(GE)管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する

(Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する

撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③

Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 撮影開始位置で腹部大動脈の CT 値 > 100)

動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)

② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 血管画像、軟部画像、骨盤大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、
血管 MIP 像、血管 VR 像

5303 骨盤-下肢 CTA(単純追加)

オーダー項目) 骨盤-下肢 CTA

装置 protocol) CTA__Pelvis__Leg_P_C

範囲)	① 単純: Precheck で指定された範囲
	② 動脈相: 腸骨上縁 2 cm 頭側から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
	③ 遅延相: 動脈相と同一範囲
造影剤)	550 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	① 単純
	② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法) 造影剤到達時間①を算出 (膝窩動脈の test peak に 20 sec を加算した時間) (GE) 管球回転時間を変えて撮影時間③を調節し、下の式で Delay time②を決定する (Siemens)「Scan time」③に数値を入力し、下の式で Delay time②を決定する 撮影開始までの Delay time [sec]②= 造影剤到達時間 [sec]① - 撮影時間[sec]③ Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 撮影開始位置で腹部大動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
	③ 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、骨盤大腿部血管冠状断 MPR 像、下腿部血管冠状断 MPR 像、 血管 MIP 像、血管 VR 像
Precheck)	単純の撮影範囲を記載(「単純追加基準」を参照)

5351 骨盤部 CTA

オーダー項目)	骨盤部 CTA、骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	CTA__Pelvis_C
範囲)	全相: 腸骨上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1cm 尾側まで
造影剤)	550 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 腸骨上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	血管画像、軟部画像、腹部血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像

【その他】

5400 Adamkiewicz

* Adamkiewicz 動脈を狙って撮影範囲を絞った高精細撮影	
オーダー項目)	胸-骨盤部 CTA
装置 protocol)	CTA__Adamkiewicz
範囲)	第 6 胸椎椎体上縁から第 3 腰椎椎体下縁まで
造影剤)	600 mgI/kg、25 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 200) ① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) ② 遅延相: 2 分 30 秒 後 (Precheck の記載があれば撮影)
再構成)	血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像 MIP (血管構築用画像を使用) 、血管冠状断 MPR 像 average (血管画像を使用) コメントに Adamkiewicz の描出依頼がある場合に使用する
適応)	以下の疾患などで、依頼情報に「Adamkiewicz 動脈の検索目的」などとある場合 胸腹部大動脈解離・大動脈瘤の術前、脊髄動脈症候群、脊髄硬膜動静脈瘻
Precheck)	本プロトコルを使用する際は依頼医に連絡し、適応を確認する 撮影範囲が絞られることを了解してこのプロトコルを使用するかを確認し、撮影範囲を協議 決定した撮影範囲を記載する
Precheck)	遅延相が必要な場合は、その範囲を記載 例:「遅延相: 胸-骨盤」 遅延相が必要ない場合も「遅延相なし」と記載

5501 右上肢 CTA

オーダー項目) 右上肢 CTA
装置 protocol) CTA__R__Arm
範囲) 全相: **Preccheck で指定**された範囲
体位) 右上肢を下げる。左上肢は挙上。
造影剤) **550 mgI/kg、30 sec** 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈**の CT 値 > 100)
① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
② 遅延相: **2 分 30 秒** 後撮影
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、上肢血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Preccheck) 依頼医と協議して撮影範囲を決定し、コメント欄に記載
右上肢全体の場合、「肩鎖関節上縁 3 cm 頭側から手指先まで」と記載

5502 右上肢 CTA(シャント)

* 透析患者用で 100kV 撮影
オーダー項目) 右上肢 CTA
装置 protocol) CTA__R__Arm_Shunt
範囲) 全相: **中手骨下端から肩鎖関節上縁 3 cm 頭側まで**
撮影方向) ① 動脈相: **尾頭**方向に撮影 (静脈の流れの方向)
② 遅延相: **頭尾**方向に撮影
体位) 右上肢を下げる。左上肢は挙上。
造影剤) **440 mgI/kg、30 sec** 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈**の CT 値 > 100)
① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec) (尾頭方向に撮影)
② 遅延相: **2 分 30 秒** 後撮影 (頭尾方向に撮影)
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、上肢血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Preccheck) 上肢の内シャントの形状確認目的の場合

5511 左上肢 CTA

オーダー項目) 左上肢 CTA
装置 protocol) CTA__L__Arm
範囲) 全相: **Preccheck で指定**された範囲
体位) 左上肢を下げる。右上肢は挙上。
造影剤) **550 mgI/kg、30 sec** 注入
時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: **肝上縁で大動脈**の CT 値 > 100)
① 動脈相: 基準 7 sec 後 (GE) (Siemens 6 sec)
② 遅延相: **2 分 30 秒** 後撮影
再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 血管画像、軟部画像、上肢血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
Preccheck) 依頼医と協議して撮影範囲を決定し、コメント欄に記載
左上肢全体の場合、「肩鎖関節上縁 3 cm 頭側から手指先まで」と記載

5512 左上肢 CTA(シャント)

* 透析患者用で 100kV 撮影
オーダー項目) 左上肢 CTA
装置 protocol) CTA__L__Arm_Shunt
範囲) 全相: **中手骨下端から肩鎖関節上縁 3 cm 頭側まで**
撮影方向) ① 動脈相: **尾頭**方向に撮影 (静脈の流れの方向)
② 遅延相: **頭尾**方向に撮影
体位) 左上肢を下げる。右上肢は挙上。

造影剤) 440 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec) (尾頭方向に撮影)
 ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影 (頭尾方向に撮影)
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、上肢血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
 Precheck) 上肢の内シヤントの形状確認目的の場合

5601 下肢 CTA

オーダー項目) 下肢 CTA
 装置 protocol) CTA_Leg
 範囲) 全相: Precheck で指定された範囲
 造影剤) 550 mgI/kg、30 sec 注入
 時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 撮影開始位置で大動脈の CT 値 > 100)
 ① 動脈相: 基準 7 sec 後(GE) (Siemens 6 sec)
 ② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 血管画像、血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 血管画像、軟部画像、下肢血管冠状断 MPR 像、血管 MIP 像、血管 VR 像
 Precheck) 依頼医と協議して撮影範囲を決定し、コメント欄に記載

【冠動脈】

5700 冠動脈 CTA

オーダー項目) 冠動脈 CTA【β 遮断薬静注】
 装置 protocol) 5700_CTCA_DS_Flash_Spiral
 5701_CTCA_DS_Step_Shoot
 5702_CTCA_DS_Half
 範囲) ① 単純: 気管分岐部から心臓下縁まで (カルシウムスコアリング画像)
 ② 動脈相: 単純画像より下記の範囲に設定する。
 (上縁) 冠動脈上縁より 5 スライス頭側まで
 (下縁) 心膜下縁より 5 スライス尾側まで
 造影剤) 24 mgI/kg/sec、12 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 撮影開始位置で上行大動脈の test peak に 2 sec を加算した時間
 (Flash Spiral では 5 sec を加算)
 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 撮影開始位置で上行大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 6 sec 後(Siemens)
 心電図同期照射) 単純: 70 %
 動脈相: 60~80 %
 再構成) カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像
 Main サーバ) カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像、冠動脈 MIP 像、冠動脈 VR 像、
 Curved MPR 像、Stretched CPR 像

5710 冠動脈 CTA(CABG 後)

オーダー項目) 冠動脈 CTA【β 遮断薬静注】
 装置 protocol) 5710_CTCA_CABG_DS
 5711_CTCA_CABG_DS_Flash
 範囲) ① 単純: 気管分岐部から心臓下縁まで (カルシウムスコアリング画像)
 ② 動脈相
 ・内胸動脈を使用: 胸鎖関節上縁 1cm 頭側から心膜下縁より 5 スライス尾側まで
 ・内胸動脈を不使用: 手術記録よりグラフト血管の起始部(吻合部) から
 心膜下縁より 5 スライス尾側まで

造影剤) 24 mgI/kg/sec、18 sec 注入
 時相) ① 単純
 ② 動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)
 撮影開始位置で上行大動脈の test peak に 2 sec を加算した時間
 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 気管分岐部で上行大動脈の CT 値 > 100)
 動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens)
 心電図同期照射) 単純: 70 %
 動脈相: 60~80 %
 再構成) カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像
 Main サーバ) カルシウムスコアリング画像、冠動脈血管構築用画像、冠動脈 MIP 像、冠動脈 VR 像、
 Curved MPR 像、Stretched CPR 像
 Precheck) 使用 bypass 血管名を明記

【アブレーション術前・左心耳カテーテル術前】

5800 胸部 CTA (アブレーション術前)

オーダー項目) 胸部 CTA【アブレーション術前】
 装置 protocol) 5800_CTA__Ablation_Spiral
 5801_CTA__Ablation_Step_Shoot
 5802_CTA__Ablation_Half
 範囲) 気管分岐部 2 cm 頭側から心臓下縁まで
 造影剤) 24 mgI/kg/sec、20 sec 注入
 時相) 呼吸呼吸停止
 動脈相: Bolus tracking 法 (基準時間: 左心房の CT 値 > 100)、動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens)
 心電図同期照射) 動脈相: 70 %
 再構成) 血管構築用画像
 Main サーバ) 血管構築用画像、肺静脈冠状断 MPR 像、肺静脈 VR 像、左心房内 VE 像

5810 胸部 CTA (アブレーション術前)+遅延相

オーダー項目) 胸部 CTA【アブレーション術前】
 装置 protocol) 5810_CTA__Ablation_Late_Spiral
 5811_CTA__Ablation_Late_Step_Shoot
 5812_CTA__Ablation_Late_Half
 範囲) ① 動脈相: 気管分岐部 2 cm 頭側から心臓下縁まで
 ② 遅延相: 左心耳上縁 2cm 頭側から左房下縁まで (動脈相の画像から範囲を設定)
 造影剤) 24 mgI/kg/sec、20 sec 注入
 時相) 呼吸呼吸停止
 ① 動脈相: Bolus tracking 法 (基準時間: 左心房の CT 値 > 100)、動脈相: 基準 6 sec 後 (Siemens)
 ② 遅延相: 1 分 30 秒 後撮影
 心電図同期照射) 全相: 70 %
 再構成) 血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 血管構築用画像、軟部画像、肺静脈冠状断 MPR 像 (動脈相、遅延相)、肺静脈 VR 像、左心房内 VE 像
 Precheck) 「特別依頼」欄のはじめに「持続性心房細動で左心耳精査のため遅延相追加」とある場合に使用

5820 胸部 CTA (左心耳カテーテル術前)

オーダー項目) 胸部 CTA【アブレーション術前】
 装置 protocol) 5820_CTA__LAAO_Spiral
 5821_CTA__LAAO_Step_Shoot
 5822_CTA__LAAO_Half
 範囲) ① 動脈相: 気管分岐部 2 cm 頭側から心臓下縁まで
 ② 遅延相: 左心耳上縁 2cm 頭側から左房下縁まで (動脈相の画像から範囲を設定)
 造影剤) 24 mgI/kg/sec、20 sec 注入
 時相) 呼吸呼吸停止

① 動脈相: Bolus tracking 法(基準時間: **左心房**の CT 値 > 100)、動脈相: 基準 6 sec 後(Siemens)
 ② 遅延相: **1 分 30 秒** 後撮影
 心電図同期照射) 全相: 70 %
 再構成) 血管構築用画像、軟部画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 血管構築用画像、軟部画像、肺静脈冠状断 MPR 像(動脈相、遅延相)、左心房 VR 像(動脈相)
 Precheck) 「特別依頼」欄のはじめに「**左心耳閉鎖術用 CTA**」とある場合に使用

5830 胸部 CTA(TPVI 術前)

オーダー項目) 胸部 CTA【TPVI 術前】
 装置 protocol) 5830_CTA__TPVI
 範囲) 大動脈弓上縁 1cm 尾側から右第 2 弓下縁まで
 造影剤) **400 mgI/kg、20 sec** 注入
 時相) 肺動脈相: Bolus tracking 法(基準時間: **肺動脈**の CT 値 > 100)、肺動脈相: 基準 6 sec 後(Siemens)
 心電図同期照射) 30~90 % (他の心位相は 25%線量)
 再構成) 肺動脈弁解析用画像(0~90 %、10 %間隔)
 Main サーバ) 肺動脈弁解析用画像(0~90 %、10 %間隔)、矢状断 MPR 像、冠状断 MPR 像、血管 VR 像

脊椎

6000 頸椎 CT 単純

オーダー項目) 頸椎 CT 単純
 装置 protocol) C__Spine_P
 範囲) **大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで**
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) **椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載**

6001 頸椎 CT 造影

オーダー項目) 頸椎 CT 造影
 装置 protocol) C__Spine_C
 範囲) **大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで**
 造影剤) **500 mgI/kg、90 sec** 注入
 時相) **2 分 30 秒** 後撮影
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) **椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載**

6010 胸椎 CT 単純

オーダー項目) 胸椎 CT 単純
 装置 protocol) T__Spine_P
 範囲) **第 1 胸椎横突起上縁 2 cm 頭側から第 1 腰椎椎体下縁まで**
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) **椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載**

6011 胸椎 CT 造影

オーダー項目) 胸椎 CT 造影
 装置 protocol) T__Spine_C
 範囲) **第 1 胸椎横突起上縁 2 cm 頭側から第 1 腰椎椎体下縁まで**
 造影剤) **500 mgI/kg、90 sec** 注入
 時相) **2 分 30 秒** 後撮影
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6020 腰椎 CT 単純

オーダー項目) 腰椎 CT 単純
装置 protocol) L__Spine_P
範囲) 第 12 胸椎椎体上縁から岬角 2 cm 尾側まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6021 腰椎 CT 造影

オーダー項目) 腰椎 CT 造影
装置 protocol) L__Spine_C
範囲) 第 12 胸椎椎体上縁から岬角 2 cm 尾側まで
造影剤) 500 mg/kg、90 sec 注入
時相) 2 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6030 頸胸椎 CT 単純

オーダー項目) 頸胸椎 CT 単純
装置 protocol) CT__Spine_P
範囲) 大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 1 腰椎椎体下縁まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6031 頸胸椎 CT 造影

オーダー項目) 頸胸椎 CT 造影
装置 protocol) CT__Spine_C
範囲) 大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 1 腰椎椎体下縁まで
造影剤) 500 mg/kg、90 sec 注入
時相) 2 分 30 秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6040 胸腰椎 CT 単純

オーダー項目) 胸腰椎 CT 単純
装置 protocol) TL__Spine_P
範囲) 第 1 胸椎横突起上縁 2 cm 頭側から岬角 2 cm 尾側まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6041 胸腰椎 CT 造影

オーダー項目) 胸腰椎 CT 造影
装置 protocol) TL__Spine_C
範囲) 第 1 胸椎横突起上縁 2 cm 頭側から岬角 2 cm 尾側まで
造影剤) 500 mg/kg、90 sec 注入

時相) 2分30秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6050 腰仙椎 CT 単純

オーダー項目) 腰仙椎 CT 単純
装置 protocol) LS__Spine_P
範囲) 第12胸椎椎体上縁から尾骨下縁まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6051 腰仙椎 CT 造影

オーダー項目) 腰仙椎 CT 造影
装置 protocol) LS__Spine_C
範囲) 第12胸椎椎体上縁から尾骨下縁まで
造影剤) 500 mgI/kg、90 sec 注入
時相) 2分30秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6060 胸腰仙椎 CT 単純

オーダー項目) 胸腰仙椎 CT 単純
装置 protocol) TLS__Spine_P
範囲) 第1胸椎横突起上縁2cm頭側から尾骨下縁まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6061 胸腰仙椎 CT 造影

オーダー項目) 胸腰仙椎 CT 造影
装置 protocol) TLS__Spine_C
範囲) 第1胸椎横突起上縁2cm頭側から尾骨下縁まで
造影剤) 500 mgI/kg、90 sec 注入
時相) 2分30秒 後撮影
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6070 全脊椎 CT 単純

オーダー項目) 全脊椎 CT 単純
装置 protocol) Whole__Spine_P
範囲) 大後頭孔後縁2cm頭側から尾骨下縁まで
再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

6071 全脊椎 CT 造影

オーダー項目) 全脊椎 CT 造影
装置 protocol) Whole__Spine_C

範囲) 大後頭孔後縁 2 cm 頭側から尾骨下縁まで
 造影剤) 500 mgI/kg、90 sec 注入
 時相) 2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 椎体固定術後など、範囲が指定されている場合は、撮影範囲を詳細に記載

骨軟部

7000 胸郭 CT 単純

オーダ項目) 胸郭 CT 単純
 装置 protocol) Thorax_P
 範囲) 第 1 胸椎横突起上縁 2 cm 頭側から肋骨下縁 2 cm 尾側まで
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

7010 肩関節 CT

オーダ項目) 右肩関節 CT 単純、左肩関節 CT 単純、右肩関節 CT 造影、左肩関節 CT 造影
 装置 protocol) Shoulder
 Scout 撮影方向) 側面 Scout の撮影方向を検側別に変更
 右: 90 度方向(R-L 方向)
 左: 270 度方向(L-R 方向)
 範囲) 肩甲骨上縁 2 cm 頭側から肩甲骨関節窩 3 cm 尾側まで
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載
 Precheck) Scout 撮影方向について「右: Scout 側面 90 度」または「左: Scout 側面 270 度」と記載

7020 肩甲骨 CT

オーダ項目) 右肩関節 CT 単純、左肩関節 CT 単純、右肩関節 CT 造影、左肩関節 CT 造影
 装置 protocol) Scapula
 Scout 撮影方向) 検側によって側面 Scout の撮影方向を変更
 右: 90 度方向(R-L 方向)
 左: 270 度方向(L-R 方向)
 範囲) 肩甲骨上縁 2 cm 頭側から肩甲骨上縁 18 cm 尾側まで
 * 肩甲骨の挙上に注意。
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) Scout 撮影方向について「右: Scout 側面 90 度」または「左: Scout 側面 270 度」と記載
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7030 上腕 CT

オーダ項目) 右上腕 CT 単純、左上腕 CT 単純、右上腕 CT 造影、左上腕 CT 造影
 Scout 撮影方向) 検側によって側面 Scout の撮影方向を変更
 右: 90 度方向(R-L 方向)
 左: 270 度方向(L-R 方向)
 装置 protocol) Arm
 範囲) 上腕骨頭上縁 2 cm 頭側から橈骨頭 2 cm 遠位まで
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載
 Precheck) Scout 撮影方向について「右: Scout 側面 90 度」または「左: Scout 側面 270 度」と記載

7040 肘関節 CT

オーダー項目)	右肘関節 CT 単純、左肘関節 CT 単純、右肘関節 CT 造影、左肘関節 CT 造影
装置 protocol)	Elbow
範囲)	ポジショニングは 上肢挙上(検側) を原則とする 肘関節は伸展させ、橈骨頭上縁を中心に 15 cm の範囲 伸展できない場合 (上縁)肘関節の滑車切痕から近位 7.5 cm (下縁)滑車切痕から前腕遠位 1/2
再構成)	軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck)	造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7050 前腕 CT

オーダー項目)	右前腕 CT 単純、左前腕 CT 単純、右前腕 CT 造影、左前腕 CT 造影
装置 protocol)	Forearm
範囲)	ポジショニングは 上肢挙上(検側) を原則とする 前腕骨上縁 2 cm 近位から前腕骨下縁 2 cm 遠位まで
再構成)	軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck)	造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7060 手関節 CT

オーダー項目)	右手関節 CT 単純、左手関節 CT 単純、右手関節 CT 造影、左手関節 CT 造影
装置 protocol)	Wrist
範囲)	ポジショニングは 上肢挙上(検側) を原則とする 尺骨茎状突起を中心に 15 cm の範囲
再構成)	軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck)	造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7070 手 CT

オーダー項目)	右手 CT 単純、左手 CT 単純、右手 CT 造影、左手 CT 造影
装置 protocol)	Hand
範囲)	ポジショニングは 上肢挙上(検側) を原則とする 尺骨茎状突起 2 cm 近位から手指先まで
再構成)	軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck)	造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7100 骨盤骨 CT 単純

オーダー項目)	骨盤部 CT 単純、骨盤骨 CT 単純
装置 protocol)	Pelvis_Bone_P
範囲)	腸骨上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成)	軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
Precheck)	検査目的が軟部組織の精査の場合、プロトコール「3300 骨盤部 CT 単純」を使用

7110 股関節 CT

オーダー項目)	右股関節 CT 単純、左股関節 CT 単純、両股関節 CT 単純 右股関節 CT 単純、左股関節 CT 単純、両股関節 CT 単純
装置 protocol)	Hip_Joint
範囲)	寛骨臼蓋上縁 5 cm 頭側から小転子下縁 3cm 遠位まで

再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7130 大腿 CT

オーダー項目) 右大腿 CT 単純、左大腿 CT 単純、両大腿 CT 単純
 右大腿 CT 単純、左大腿 CT 単純、両大腿 CT 単純
 装置 protocol) Thigh
 範囲) 寛骨臼蓋上縁 3 cm 頭側から大腿骨下縁 3cm 遠位まで
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7140 膝関節 CT

オーダー項目) 右膝関節 CT 単純、左膝関節 CT 単純、両膝関節 CT 単純
 右膝関節 CT 単純、左膝関節 CT 単純、両膝関節 CT 単純
 装置 protocol) Knee
 範囲) 大腿骨内側顆下縁を中心に 20 cm の範囲
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7160 下腿 CT

オーダー項目) 右下腿 CT 単純、左下腿 CT 単純、両下腿 CT 単純
 右下腿 CT 単純、左下腿 CT 単純、両下腿 CT 単純
 装置 protocol) Leg
 範囲) 下腿骨上縁 3 cm 近位から下腿骨下縁 2 cm 遠位まで
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7170 足関節 CT

オーダー項目) 右足関節 CT 単純、左足関節 CT 単純、両足関節 CT 単純
 右足関節 CT 単純、左足関節 CT 単純、両足関節 CT 単純
 装置 protocol) Ankle
 範囲) 距骨上縁を中心に 15 cm の範囲
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

7180 足 CT

オーダー項目) 右足 CT 単純、左足 CT 単純、両足 CT 単純
 右足 CT 単純、左足 CT 単純、両足 CT 単純
 装置 protocol) Foot
 範囲) 踵骨隆起から足趾先まで(* 位置決め資料参照)
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 500 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

小児 頭部

8000 小児頭部 CT 単純 [8001, 8002, 8003, 8004]

オーダー項目) 鎮静 頭部 CT 単純、頭部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8000_Ped__Head_P
その他 8001_Ped__Head_P_NICU
8002_Ped__Head_P_0_2Y
8003_Ped__Head_P_3_5Y
8004_Ped__Head_P_6_14Y

範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで

基準面) OM line

撮影モード) non-helical

再構成) 脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像

Main サーバ) 脳画像、脳 2.5mm 画像

適応) 以下の場合は積極的に小児用「頭部 CT 単純(脳室サイズ)」を使用

1 年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合
頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合

Precheck) 頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

8005 小児頭部 CT 造影 [8006, 8007, 8008, 8009]

オーダー項目) 鎮静 頭部 CT 造影、頭部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8005_Ped__Head_C
その他 8006_Ped__Head_C_NICU
8007_Ped__Head_C_0_2Y
8008_Ped__Head_C_3_5Y
8009_Ped__Head_C_6_14Y

範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで

基準面) OM line

撮影モード) non-helical

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ使用、後押し生食を含め 90 sec 以内に投与
造影剤注入約 3 分後撮影

25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、3 分後撮影

再構成) 脳画像、骨画像、脳 2.5mm 画像

Main サーバ) 脳画像、脳 2.5mm 画像

Precheck) 頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

8010 小児頭部多断面 CT 単純 [8011, 8012, 8013, 8014]

オーダー項目) 鎮静 頭部 CT 単純、頭部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8010_Ped__Head_MPR_P
その他 8011_Ped__Head_MPR_P_NICU
8012_Ped__Head_MPR_P_0_2Y
8013_Ped__Head_MPR_P_3_5Y
8014_Ped__Head_MPR_P_6_14Y

範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで

* Precheck コメントに「頭蓋骨上縁まで」とある場合、最終スライスに頭蓋骨が写らないこと

基準面) OM line

撮影モード) helical

再構成) 脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像

Main サーバ) 脳画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像、
脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)

適応) 以下の場合は積極的に小児用「頭部 CT 単純(脳室サイズ)」を使用

1年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合
頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合

Precheck) 頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

Precheck) 頭蓋骨 3D 作成依頼などで必要な場合、「頭蓋骨上縁まで」と記載

8015 小児頭部多断面 CT 造影 [8016, 8017, 8018, 8019]

オーダー項目) 鎮静 頭部 CT 造影、頭部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8015_Ped__Head_MPR_C
その他 8016_Ped__Head_MPR_C_NICU
8017_Ped__Head_MPR_C_0_2Y
8018_Ped__Head_MPR_C_3_5Y
8019_Ped__Head_MPR_C_6_14Y

範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで

* Precheck コメントに「頭蓋骨上縁まで」とある場合、最終スライスに頭蓋骨が写らないこと

基準面) OM line

撮影モード) helical

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ使用、後押し生食を含め 90 sec 以内に投与
造影剤注入約 3 分後撮影

25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、3 分後撮影

再構成) 脳画像、骨画像、脳 thin slice 画像

Main サーバ) 脳画像、脳 thin slice 画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像、
脳横断 MPR 像(脳画像が基準面と一致していない場合に作成)

Precheck) 頭部外傷では「骨画像を main サーバに送信」と記載

Precheck) 頭蓋骨 3D 作成依頼などで必要な場合、「頭蓋骨上縁まで」と記載

8020 小児頭部 CT 単純(脳室サイズ) [8021, 8022, 8023, 8024]

* 水頭症の脳室サイズ経過観察目的の低線量プロトコル(8000 - 8004 小児頭部 CT 単純の約半分の線量)

オーダー項目) 鎮静 頭部 CT 単純【脳室サイズ】、頭部 CT 単純【脳室サイズ】

装置 protocol) Siemens 8020_Ped__Head_P_Ventricle_Size
その他 8021_Ped__Head_P_Ventricle_Size_NICU
8022_Ped__Head_P_Ventricle_Size_0_2Y
8023_Ped__Head_P_Ventricle_Size_3_5Y
8024_Ped__Head_P_Ventricle_Size_6_14Y

範囲) 後頭蓋窩下縁から頭蓋骨内板上縁まで

基準面) 前頭蓋窩下縁と後頭蓋窩下縁を結んだ線

撮影モード) non-helical

再構成) 脳画像、脳 thin slice 画像

Main サーバ) 脳画像、脳冠状断 MPR 像、脳矢状断 MPR 像

適応) 鎮静 頭部 CT 単純【脳室サイズ】、頭部 CT 単純【脳室サイズ】オーダー以外で、以下の場合に使用
1年以内に撮影された頭部 CT 画像があり、目的が水頭症の経過観察のみと判断される場合
頭蓋早期癒合症(疑い)の経過観察の場合(初回 CT は通常線量プロトコルを使用)

小児 頭頸部

8100 小児顔面骨 CT 単純 [8101, 8102, 8103, 8104]

オーダー項目) 顔面骨 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8100_Ped__Face_P
その他 8101_Ped__Face_P_NICU
8102_Ped__Face_P_0_2Y
8103_Ped__Face_P_3_5Y
8104_Ped__Face_P_6_14Y

範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から下顎骨下縁 1 cm 尾側まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 再構成) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

8106 小児顔面骨 CT 単純 (低線量) [8107, 8108, 8109]

* 形成外科依頼の下顎骨術後経過観察用低線量プロトコール

オーダ項目) 顔面骨 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 未設定
 その他 8106_Ped__Face_P_LD_NICU
 8107_Ped__Face_P_LD_0_2Y
 8108_Ped__Face_P_LD_3_5Y
 8109_Ped__Face_P_LD_6_14Y

範囲) 顔面骨: 眼窩上縁 1 cm 頭側から下顎骨下縁 1 cm 尾側まで
 下顎骨: 錐体上縁から下顎骨下縁 1 cm 尾側まで

基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 再構成) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 上記のどちらかの撮影範囲を記載

8110 小児鼻骨 CT 単純 [8111, 8112, 8113, 8114]

オーダ項目) 鼻骨 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8110_Ped__Nose_P
 その他 8111_Ped__Nose_P_NICU
 8112_Ped__Nose_P_0_2Y
 8113_Ped__Nose_P_3_5Y
 8114_Ped__Nose_P_6_14Y

範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 再構成) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 骨画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、VR 像

8120 小児眼窩 CT 単純 [8121, 8122, 8123, 8124]

オーダ項目) 眼窩 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8120_Ped__Orbit_P
 その他 8121_Ped__Orbit_P_NICU
 8122_Ped__Orbit_P_0_2Y
 8123_Ped__Orbit_P_3_5Y
 8124_Ped__Orbit_P_6_14Y

範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、軟部冠状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8125 小児眼窩 CT 造影 [8126, 8127, 8128, 8129]

オーダ項目) 眼窩 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8125_Ped__Orbit_C
 その他 8126_Ped__Orbit_C_NICU
 8127_Ped__Orbit_C_0_2Y
 8128_Ped__Orbit_C_3_5Y

8129_Ped__Orbit_C_6_14Y

範囲) 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 造影剤) 600 mgI/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ使用、後押し生食を含め 40 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 40 sec 注入、1 分 後撮影
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、
 軟部冠状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8130 小児眼窩 CT 単純+造影 [8131, 8132, 8133, 8134]

オーダ項目) 眼窩 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8130_Ped__Orbit_P_C
 その他 8131_Ped__Orbit_P_C_NICU
 8132_Ped__Orbit_P_C_0_2Y
 8133_Ped__Orbit_P_C_3_5Y
 8134_Ped__Orbit_P_C_6_14Y
 範囲) 全相: 眼窩上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 造影剤) 600 mgI/kg
 時相) ① 単純
 ② 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 40 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 40 sec 注入、1 分 後撮影
 再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像、
 軟部冠状断 MPR 像
 適応) 依頼医から「単純追加」依頼があり、必要と判断された場合

8140 小児副鼻腔 CT 単純 [8141, 8142, 8143, 8144]

オーダ項目) 副鼻腔 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8140_Ped__Sinus_P
 その他 8141_Ped__Sinus_P_NICU
 8142_Ped__Sinus_P_0_2Y
 8143_Ped__Sinus_P_3_5Y
 8144_Ped__Sinus_P_6_14Y
 範囲) 前頭洞上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで
 基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8145 小児副鼻腔 CT 造影 [8146, 8147, 8148, 8149]

オーダ項目) 副鼻腔 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8145_Ped__Sinus_C
 その他 8146_Ped__Sinus_C_NICU
 8147_Ped__Sinus_C_0_2Y
 8148_Ped__Sinus_C_3_5Y
 8149_Ped__Sinus_C_6_14Y
 範囲) 前頭洞上縁 1 cm 頭側から歯列下縁まで

基準面) 後床突起-眼窩中央 line
 造影剤) 600 mgI/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 40 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 40 sec 注入、1 分 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、骨矢状断 MPR 像
 軟部冠状断 MPR 像、軟部矢状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8150 小児側頭骨 CT 単純 [8151, 8152, 8153, 8154]

オーダー項目) 鎮静 側頭骨 CT 単純、側頭骨 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8150_Ped__Ear_P
 その他 8151_Ped__Ear_P_NICU
 8152_Ped__Ear_P_0_2Y
 8153_Ped__Ear_P_3_5Y
 8154_Ped__Ear_P_6_14Y
 範囲) 錐体上縁 1 cm 頭側から乳突蜂巣下縁まで
 * 左右別の側頭骨 thin slice 画像(DFOV 100 mm)を第 2、第 3 画像再構成で作成
 基準面) 錐体上縁-眼窩下縁 line
 再構成) 軟部画像(GE)、軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、側頭骨冠状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8155 小児側頭骨 CT 造影 [8156, 8157, 8158, 8159]

オーダー項目) 鎮静 側頭骨 CT 造影、側頭骨 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8155_Ped__Ear_C
 装置 protocol) その他 8156_Ped__Ear_C_NICU
 8157_Ped__Ear_C_0_2Y
 8158_Ped__Ear_C_3_5Y
 8159_Ped__Ear_C_6_14Y
 範囲) 錐体上縁 1 cm 頭側から乳突蜂巣下縁まで
 * 左右別の側頭骨 thin slice 画像(DFOV 100 mm)を第 2、第 3 画像再構成で作成
 基準面) 錐体上縁-眼窩下縁 line
 造影剤) 600 mgI/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 40 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 40 sec 注入、1 分 後撮影
 再構成) 軟部画像(GE)、軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、軟部側頭骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部 thin slice 画像、側頭骨 thin slice 画像、軟部側頭骨 thin slice 画像、側頭骨冠状断 MPR 像、
 軟部側頭骨冠状断 MPR 像
 Precheck) 腫瘍の場合、「軟部 thin slice 画像を追加」と記載

8160 小児頸部 CT 単純 [8161, 8162, 8163, 8164]

オーダー項目) 鎮静 頸部 CT 単純、頸部 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8160_Ped__Neck_P
 その他 8161_Ped__Neck_P_NICU
 8162_Ped__Neck_P_0_2Y
 8163_Ped__Neck_P_3_5Y
 8164_Ped__Neck_P_6_14Y
 範囲) 上咽頭上縁から気管分岐部まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像

8165 小児頸部 CT 造影 [8166, 8167, 8168, 8169]

オーダー項目) 鎮静 頸部 CT 造影、頸部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8165_Ped__Neck__C
その他 8166_Ped__Neck__C_NICU
8167_Ped__Neck__C_0_2Y
8168_Ped__Neck__C_3_5Y
8169_Ped__Neck__C_6_14Y

範囲) 上咽頭上縁から気管分岐部まで

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 40 sec 目安に投与
造影剤注入後速やかに撮影(1 分 以内)

25 kg 以上: インジェクター、造影剤 40 sec 注入、1 分 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像

小児 体幹部

8200 小児頸-胸部 CT 単純 [8201, 8202, 8203, 8204]

オーダー項目) 鎮静 頸-胸部 CT 単純、頸-胸部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8200_Ped__Neck__Chest_P
その他 8201_Ped__Neck__Chest_P_NICU
8202_Ped__Neck__Chest_P_0_2Y
8203_Ped__Neck__Chest_P_3_5Y
8204_Ped__Neck__Chest_P_6_14Y

範囲) 上咽頭上縁から肺底部まで

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像

8205 小児頸-胸部 CT 造影 [8206, 8207, 8208, 8209]

オーダー項目) 鎮静 頸-胸部 CT 造影、頸-胸部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8205_Ped__Neck__Chest_C
その他 8206_Ped__Neck__Chest_C_NICU
8207_Ped__Neck__Chest_C_0_2Y
8208_Ped__Neck__Chest_C_3_5Y
8209_Ped__Neck__Chest_C_6_14Y

範囲) 上咽頭上縁から肺底部まで

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与
造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内)

25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像

8300 小児胸部 CT 単純 [8301, 8302, 8303, 8304]

オーダー項目) 鎮静 胸部 CT 単純、胸部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8300_Ped__Chest_P
その他 8301_Ped__Chest_P_NICU
8302_Ped__Chest_P_0_2Y
8303_Ped__Chest_P_3_5Y
8304_Ped__Chest_P_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から肺底部まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から肺底部まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像
 Precheck) 病名「漏斗胸」で検査目的「胸郭精査」の場合は「8830 小児胸郭 CT 単純」を使用

8305 小児胸部 CT 造影 [8306, 8307, 8308, 8309]

オーダー項目) 鎮静 胸部 CT 造影、胸部 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8305_Ped__Chest_C
 その他 8306_Ped__Chest_C_NICU
 8307_Ped__Chest_C_0_2Y
 8308_Ped__Chest_C_3_5Y
 8309_Ped__Chest_C_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から肺底部まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から肺底部まで
 造影剤) 600 mg/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野 thin slice 画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像

8320 小児胸-腹部 CT 単純 [8321, 8322, 8323, 8324]

オーダー項目) 鎮静 胸-腹部 CT 単純、胸-腹部 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8320_Ped__Chest__Abd_P
 その他 8321_Ped__Chest__Abd_P_NICU
 8322_Ped__Chest__Abd_P_0_2Y
 8323_Ped__Chest__Abd_P_3_5Y
 8324_Ped__Chest__Abd_P_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から腸骨上縁まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から腸骨上縁まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像

8325 小児胸-腹部 CT 造影 [8326, 8327, 8328, 8329]

オーダー項目) 鎮静 胸-腹部 CT 造影、胸-腹部 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8325_Ped__Chest__Abd_C
 その他 8326_Ped__Chest__Abd_C_NICU
 8327_Ped__Chest__Abd_C_0_2Y
 8328_Ped__Chest__Abd_C_3_5Y
 8329_Ped__Chest__Abd_C_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から腸骨上縁まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から腸骨上縁まで
 造影剤) 600 mg/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、軟部冠状断 MPR 像、肺野冠状断 MPR 像

8360 小児胸-骨盤部 CT 単純 [8361, 8362, 8363, 8364]

オーダー項目) 鎮静 胸-骨盤部 CT 単純、胸-骨盤部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8360_Ped__Chest__Pelvis_P
 その他 8361_Ped__Chest__Pelvis_P_NICU
 8362_Ped__Chest__Pelvis_P_0_2Y
 8363_Ped__Chest__Pelvis_P_3_5Y
 8364_Ped__Chest__Pelvis_P_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

8365 小児胸-骨盤部 CT 造影 [8366, 8367, 8368, 8369]

オーダー項目) 鎮静 胸-骨盤部 CT 造影、胸-骨盤部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8365_Ped__Chest__Pelvis_C
 その他 8366_Ped__Chest__Pelvis_C_NICU
 8367_Ped__Chest__Pelvis_C_0_2Y
 8368_Ped__Chest__Pelvis_C_3_5Y
 8369_Ped__Chest__Pelvis_C_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、肺野画像、胸部冠状断 MPR 像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

8400 小児腹部 CT 単純 [8401, 8402, 8403, 8404]

オーダー項目) 鎮静 腹部 CT 単純、腹部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8400_Ped__Abd_P_
 その他 8401_Ped__Abd_P_NICU
 8402_Ped__Abd_P_0_2Y
 8403_Ped__Abd_P_3_5Y
 8404_Ped__Abd_P_6_14Y

範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹部冠状断 MPR 像

8405 小児腹部 CT 造影 [8406, 8407, 8408, 8409]

オーダー項目) 鎮静 腹部 CT 造影、腹部 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8405_Ped__Abd_C
 その他 8406_Ped__Abd_C_NICU
 8407_Ped__Abd_C_0_2Y
 8408_Ped__Abd_C_3_5Y
 8409_Ped__Abd_C_6_14Y

範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与
 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内)
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹部冠状断 MPR 像

8410 小児腹部ダイナミック CT 単純+造影 2 相 [8411, 8412, 8413, 8414]

オーダー項目)	鎮静 腹部ダイナミック CT 単純+造影 2 相、鎮静 腹部 CT 造影、腹部 CT 造影
装置 protocol)	Siemens 8410_Ped__Abd_P_C2 その他 8411_Ped__Abd_P_C2_NICU 8412_Ped__Abd_P_C2_0_2Y 8413_Ped__Abd_P_C2_3_5Y 8414_Ped__Abd_P_C2_6_14Y
範囲)	肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで * 範囲毎に最適化してください
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 動脈相: 基準 10 sec 後(約 30 sec 後) ③ 平衡相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹部冠状断 MPR 像
適応)	ダイナミック依頼のコメントがあり、多相撮影が必要と判断した場合 原則は 1 相撮影
Precheck)	範囲を変更する場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8430 小児腹部ダイナミック CT 造影 2 相【術前】 [8431, 8432, 8433, 8434]

オーダー項目)	鎮静 腹部ダイナミック CT 単純+造影 2 相、鎮静 腹部 CT 造影、腹部 CT 造影
装置 protocol)	Siemens 8430_Ped__Abd_PreOpe_C2 その他 8431_Ped__Abd_PreOpe_C2_NICU 8432_Ped__Abd_PreOpe_C2_0_2Y 8433_Ped__Abd_PreOpe_C2_3_5Y 8434_Ped__Abd_PreOpe_C2_6_14Y
範囲)	肝上縁 2 cm 頭側から腸骨上縁まで * 範囲毎に最適化してください
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 動脈相: 基準 5 sec 後(約 25 sec 後) ② 門脈相: 60 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、血管構築用画像
Main サーバ)	軟部画像、血管構築用画像、腹部冠状断 MPR 像、血管 VR 像
適応)	肝胆道閉鎖症などの術前血管マッピング用
Precheck)	範囲を変更する場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8500 小児腹-骨盤部 CT 単純 [8501, 8502, 8503, 8504]

オーダー項目)	鎮静 腹-骨盤部 CT 単純、腹-骨盤部 CT 単純
装置 protocol)	Siemens 8500_Ped__Abd__Pelvis_P その他 8501_Ped__Abd__Pelvis_P_NICU 8502_Ped__Abd__Pelvis_P_0_2Y 8503_Ped__Abd__Pelvis_P_3_5Y 8504_Ped__Abd__Pelvis_P_6_14Y
範囲)	肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 身長が 120 cm 超える場合は、坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

8505 小児腹-骨盤部 CT 造影 [8506, 8507, 8508, 8509]

オーダー項目)	鎮静 腹-骨盤部 CT 造影、腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	Siemens 8505_Ped__Abd__Pelvis_C その他 8506_Ped__Abd__Pelvis_C_NICU 8507_Ped__Abd__Pelvis_C_0_2Y 8508_Ped__Abd__Pelvis_C_3_5Y 8509_Ped__Abd__Pelvis_C_6_14Y
範囲)	肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 身長が 120 cm 超える場合は、坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 範囲毎に最適化してください
造影剤)	600 mgI/kg
時相)	造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内) 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

8530 小児腹-骨盤部ダイナミック CT 単純+造影 2 相 [8531, 8532, 8533, 8534]

オーダー項目)	鎮静 腹-骨盤部ダイナミック CT 単純+造影 2 相、鎮静 腹-骨盤部 CT 造影、 腹-骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	Siemens 8530_Ped__Abd__Pelvis_P_C2 その他 8531_Ped__Abd__Pelvis_P_C2_NICU 8532_Ped__Abd__Pelvis_P_C2_0_2Y 8533_Ped__Abd__Pelvis_P_C2_3_5Y 8534_Ped__Abd__Pelvis_P_C2_6_14Y
範囲)	肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 身長が 120 cm 超える場合は、坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 範囲毎に最適化してください
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100) ① 単純 ② 動脈相: 基準 10 sec 後(約 30 sec 後) ③ 平衡相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像
適応)	ダイナミック依頼のコメントがあり、多相撮影が必要と判断した場合 原則は 1 相撮影
Precheck)	範囲を変更する場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8600 小児骨盤部 CT 単純 [8601, 8602, 8603, 8604]

オーダー項目)	鎮静 骨盤部 CT 単純、骨盤部 CT 単純
装置 protocol)	Siemens 8600_Ped__Pelvis_P その他 8601_Ped__Pelvis_P_NICU 8602_Ped__Pelvis_P_0_2Y 8603_Ped__Pelvis_P_3_5Y 8604_Ped__Pelvis_P_6_14Y
範囲)	腸骨上縁 1 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 身長が 120 cm 超える場合は、腸骨上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、腹骨盤部冠状断 MPR 像

8605 小児骨盤部 CT 造影 [8606, 8607, 8608, 8609]

オーダー項目)	鎮静 骨盤部 CT 造影、骨盤部 CT 造影
装置 protocol)	Siemens 8605_Ped__Pelvis_C その他 8606_Ped__Pelvis_C_NICU 8607_Ped__Pelvis_C_0_2Y 8608_Ped__Pelvis_C_3_5Y 8609_Ped__Pelvis_C_6_14Y
範囲)	腸骨上縁 1 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで * 身長が 120 cm 超える場合は、腸骨上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで
造影剤)	600 mg/kg
時相)	造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 60 sec 目安に投与 造影剤注入後速やかに撮影(1 分 30 秒 以内) 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 60 sec 注入、1 分 30 秒 後撮影
再構成)	軟部画像、軟部 thin slice 画像
Main サーバ)	軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨盤部冠状断 MPR 像

小児 CTA

8700 小児頭部 CTA [8701, 8702, 8703, 8704]

オーダー項目)	鎮静 頭部 CTA、頭部 CTA
装置 protocol)	Siemens 8700_Ped__CTA__Head その他 8701_Ped__CTA__Head_NICU 8702_Ped__CTA__Head_0_2Y 8703_Ped__CTA__Head_3_5Y 8704_Ped__CTA__Head_6_14Y
範囲)	後頭蓋窩下縁から頭側 2/3 まで FOV 200 mm
造影剤)	600 mg/kg、20 sec 注入
基準面)	OM line
時相)	動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 1 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 1 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後
再構成)	Reference thin slice 画像、CTA thin slice 原画像
Main サーバ)	CTA thin slice 原画像、CTA 減算画像、血管冠状断 MPR 像、血管矢状断 MPR 像、血管 VR 像
Precheck)	単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8710 小児頸部 CTA [8711, 8712, 8713, 8714]

オーダー項目)	鎮静 頸部 CTA、頸部 CTA
装置 protocol)	Siemens 8710_Ped__CTA__Neck その他 8711_Ped__CTA__Neck_NICU 8712_Ped__CTA__Neck_0_2Y 8713_Ped__CTA__Neck_3_5Y 8714_Ped__CTA__Neck_6_14Y
範囲)	気管分岐部から眼窩上縁まで
造影剤)	600 mg/kg、20 sec 注入
時相)	動脈相: Test injection 法 (peak を判定できなければ Bolus tracking 法)、サブトラクション処理 第 3 頸椎レベルで内頸動脈の test peak に 0 - 2 sec 加算した時間 Bolus tracking 法の場合 (基準時間: 第 3 頸椎レベルでの内頸動脈の CT 値 > 100) 動脈相: 基準 6 sec 後
再構成)	Reference 画像、Reference thin slice 画像、CTA 原画像、CTA thin slice 原画像

Main サーバ) CTA 原画像、CTA thin slice 原画像、CTA 減算画像、血管冠状断 MPR 像、
血管矢状断 MPR 像、血管 VR 像

Precheck) 単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載
被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8720 小児胸部 CTA [8721, 8722, 8723, 8724]

オーダー項目) 鎮静 胸部 CTA、胸部 CTA

装置 protocol) Siemens 8720_Ped__CTA__Chest
その他 8721_Ped__CTA__Chest_NICU
8722_Ped__CTA__Chest_0_2Y
8723_Ped__CTA__Chest_3_5Y
8724_Ped__CTA__Chest_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から肺底部まで

* 但し、身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から肺底部まで

* 範囲毎に最適化してください

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 気管分岐部で下行大動脈の CT 値 > 100)

① 動脈相: 基準 6 sec 後

② 遅延相: 2 分 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像

Main サーバ) 血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像、血管矢状断 MPR 像、血管 VR 像

Precheck) 単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載
被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8730 小児腹-骨盤部 CTA [8731, 8732, 8733, 8734]

オーダー項目) 鎮静 腹-骨盤部 CTA、腹-骨盤部 CTA

装置 protocol) Siemens 8730_Ped__CTA__Abd__Pelvis
その他 8731_Ped__CTA__Abd__Pelvis_NICU
8732_Ped__CTA__Abd__Pelvis_0_2Y
8733_Ped__CTA__Abd__Pelvis_3_5Y
8734_Ped__CTA__Abd__Pelvis_6_14Y

範囲) 肝上縁 2 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

* 但し、身長が 120 cm 超える場合は、坐骨下縁 1 cm 尾側まで

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入

時相) Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈の CT 値 > 100)

① 動脈相: 基準 6 sec 後

② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影

再構成) 血管画像、血管構築用画像

Main サーバ) 血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像

Precheck) 単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載
被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

8740 小児胸-骨盤部 CTA [8741, 8742, 8743, 8744]

オーダー項目) 鎮静 胸-骨盤部 CTA、胸-骨盤部 CTA

装置 protocol) Siemens 8740_Ped__CTA__Chest__Pelvis
その他 8741_Ped__CTA__Chest__Pelvis_NICU
8742_Ped__CTA__Chest__Pelvis_0_2Y
8743_Ped__CTA__Chest__Pelvis_3_5Y
8744_Ped__CTA__Chest__Pelvis_6_14Y

範囲) 肺尖 1 cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

* 但し、身長が 120 cm 超える場合は、肺尖 2cm 頭側から坐骨下縁 1 cm 尾側まで

造影剤) 600 mgI/kg、30 sec 注入

時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 肝上縁で大動脈 の CT 値 > 100)
	① 動脈相: 基準 6 sec 後
	② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像
Precheck)	単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

<u>8750 小児上肢 CTA [8751, 8752, 8753, 8754]</u>	
オーダー項目)	鎮静 上肢 CTA、右上肢 CTA、左上肢 CTA
装置 protocol)	Siemens 8750_Ped__CTA__Arm その他 8751_Ped__CTA__Arm_NICU 8752_Ped__CTA__Arm_0_2Y 8753_Ped__CTA__Arm_3_5Y 8754_Ped__CTA__Arm_6_14Y
範囲)	Precheck で指定された範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 撮影開始位置で動脈 の CT 値 > 100)
	① 動脈相: 基準 6 sec 後
	② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像
Precheck)	撮影範囲を詳細に記載 単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

<u>8760 小児下肢 CTA [8761, 8762, 8763, 8764]</u>	
オーダー項目)	鎮静 下肢 CTA、下肢 CTA
装置 protocol)	Siemens 8760_Ped__CTA__Leg その他 8761_Ped__CTA__Leg_NICU 8762_Ped__CTA__Leg_0_2Y 8763_Ped__CTA__Leg_3_5Y 8764_Ped__CTA__Leg_6_14Y
範囲)	Precheck で指定された範囲
造影剤)	600 mgI/kg、30 sec 注入
時相)	Bolus tracking 法使用 (基準時間: 撮影開始位置で動脈 の CT 値 > 100)
	① 動脈相: 基準 6 sec 後
	② 遅延相: 2 分 30 秒 後撮影
再構成)	血管画像、血管構築用画像
Main サーバ)	血管画像、血管構築用画像、血管冠状断 MPR 像、血管 VR 像
Precheck)	撮影範囲を詳細に記載 単純、遅延相が必要な場合は、その範囲を詳細に記載 被ばく低減に留意し、時相毎に最適化する

小児 脊椎・四肢

<u>8800 小児頸椎 CT 単純 [8801, 8802, 8803, 8804]</u>	
オーダー項目)	鎮静 脊椎 CT 単純、頸椎 CT 単純
装置 protocol)	Siemens 8800_Ped__C__Spine_P その他 8801_Ped__C__Spine_P_NICU 8802_Ped__C__Spine_P_0_2Y 8803_Ped__C__Spine_P_3_5Y

8804_Ped__C__Spine_P_6_14Y

範囲) 大後頭孔後縁 1 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像

8805 小児頸椎 CT 造影 [8806, 8807, 8808, 8809]

オーダー項目) 鎮静 脊椎 CT 造影、頸椎 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8805_Ped__C__Spine_C
 その他 8806_Ped__C__Spine_C_NICU
 8807_Ped__C__Spine_C_0_2Y
 8808_Ped__C__Spine_C_3_5Y
 8809_Ped__C__Spine_C_6_14Y
 範囲) 大後頭孔後縁 1 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで
 * 身長が 120 cm 超える場合は、大後頭孔後縁 2 cm 頭側から第 2 肋骨基部下縁まで
 造影剤) 600 mg/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 90 sec 目安に投与
 造影剤注入後約 2 分 30 秒 後に撮影
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像

8810 小児脊椎 CT 単純 [8811, 8812, 8813, 8814]

*「小児頸椎 CT 単純」以外に使用
 オーダー項目) 鎮静 脊椎 CT 単純、頸胸椎 CT 単純、胸椎 CT 単純、胸腰椎 CT 単純、腰椎 CT 単純、
 腰仙椎 CT 単純、胸腰仙椎 CT 単純、全脊椎 CT 単純
 装置 protocol) Siemens 8810_Ped__Spine_P
 その他 8811_Ped__Spine_P_NICU
 8812_Ped__Spine_P_0_2Y
 8813_Ped__Spine_P_3_5Y
 8814_Ped__Spine_P_6_14Y
 範囲) Precheck で指定された範囲
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像
 Precheck) 撮影範囲を詳細に記載

8815 小児脊椎 CT 造影 [8816, 8817, 8818, 8819]

*「小児頸椎 CT 造影」以外に使用
 オーダー項目) 鎮静 脊椎 CT 造影、頸胸椎 CT 造影、胸椎 CT 造影、胸腰椎 CT 造影、腰椎 CT 造影、
 腰仙椎 CT 造影、胸腰仙椎 CT 造影、全脊椎 CT 造影
 装置 protocol) Siemens 8815_Ped__Spine_C
 その他 8816_Ped__Spine_C_NICU
 8817_Ped__Spine_C_0_2Y
 8818_Ped__Spine_C_3_5Y
 8819_Ped__Spine_C_6_14Y
 範囲) Precheck で指定された範囲
 造影剤) 600 mg/kg
 時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 90 sec 目安に投与
 造影剤注入後約 2 分 30 秒 後に撮影
 25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、2 分 30 秒 後撮影
 再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
 Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像

Precheck) 撮影範囲を詳細に記載

8830 小児胸郭 CT 単純 [8831, 8832, 8833, 8834]

オーダー項目) 胸郭 CT 単純、鎮静 胸部 CT 単純、胸部 CT 単純

装置 protocol) Siemens 8830_Ped_Thorax_P
その他 8831_Ped_Thorax_P_NICU
8832_Ped_Thorax_P_0_2Y
8833_Ped_Thorax_P_3_5Y
8834_Ped_Thorax_P_6_14Y

範囲) 第 1 胸椎横突起上縁 1 cm 頭側から肋骨下縁 1 cm 尾側まで(* 位置決め資料参照)
* 身長が 120 cm 超える場合は、それぞれ 2 cm 頭側および 2 cm 尾側までに変更

再構成) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、骨 thin slice 画像、軟部 thin slice 画像、骨冠状断 MPR 像、VR 像

Precheck) 病名「漏斗胸」で検査目的「胸郭精査」の場合に使用

8840 小児上肢 CT [8841, 8842, 8843, 8844]

* 上肢の単純オーダーと造影オーダーは、プロトコールを共有

オーダー項目) 鎮静 上肢 CT 単純、右(左)肩関節 CT 単純、右(左)上腕 CT 単純、右(左)肘関節 CT 単純、
右(左)前腕 CT 単純、右(左)手関節 CT 単純、右(左)手 CT 単純、
鎮静 上肢 CT 造影、右(左)肩関節 CT 造影、右(左)上腕 CT 造影、右(左)肘関節 CT 造影、
右(左)前腕 CT 造影、右(左)手関節 CT 造影、右(左)手 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8840_Ped_Arm
その他 8841_Ped_Arm_NICU
8842_Ped_Arm_0_2Y
8843_Ped_Arm_3_5Y
8844_Ped_Arm_6_14Y

範囲) Precheck で指定された範囲

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 90 sec 目安に投与
造影剤注入後約 2 分 30 秒 後に撮影

25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、2 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像

Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像

Precheck) 撮影範囲を詳細に記載

Precheck) 造影依頼の場合は「造影剤 600 mgI/kg、90 sec 注入、2 分 30 秒後撮影」と記載

8870 小児下肢 CT [8871, 8872, 8873, 8874]

* 下肢の単純オーダーと造影オーダーは、プロトコールを共有

オーダー項目) 鎮静 下肢 CT 単純、両(左、右)股関節 CT 単純、両(左、右)大腿 CT 単純、
両(左、右)膝関節 CT 単純、両(左、右)下腿 CT 単純、両(左、右)足関節 CT 単純、両(左、右)足 CT 単純
鎮静 下肢 CT 造影、両(左、右)股関節 CT 造影、両(左、右)大腿 CT 造影、
両(左、右)膝関節 CT 造影、両(左、右)下腿 CT 造影、両(左、右)足関節 CT 造影、両(左、右)足 CT 造影

装置 protocol) Siemens 8870_Ped_Leg
その他 8871_Ped_Leg_NICU
8872_Ped_Leg_0_2Y
8873_Ped_Leg_3_5Y
8874_Ped_Leg_6_14Y

範囲) Precheck で指定された範囲

造影剤) 600 mgI/kg

時相) 造影: 25 kg 未満: 手押し投与、ストップウォッチ用意、後押し生食を含め 90 sec 目安に投与

造影剤注入後約 2 分 30 秒 後に撮影
25 kg 以上: インジェクター、造影剤 90 sec 注入、2 分 30 秒 後撮影

再構成) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像
Main サーバ) 軟部画像、軟部 thin slice 画像、骨 thin slice 画像、骨矢状断 MPR 像、骨冠状断 MPR 像、VR 像
Precheck) [撮影範囲を詳細に記載](#)